

第六十七回 帝國議會
衆議院

昭和十年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行二關スル法律案外一件委員會議錄(記速)第十一回

會 議	昭和十年二月十八日(月曜日)午前十時五十	田邊 七六君	廣瀬 爲久君	中島彌國次君	栗原彥三郎君	出席政府委員左ノ如シ
分開議		山田 又司君	小笠原三九郎君	龜井貫一郎君	内閣書記官長 吉田 茂君	出席政府委員左ノ如シ
出席委員左ノ如シ		大口 喜六君	太田 正孝君	大藏大臣左ノ如シ	陸軍大臣	出席政府委員左ノ如シ
委員長 岡田 忠彦君		鷺野米太郎君	大山斐瑳麿君	高橋 是清君	大藏政務次官男爵	内閣書記官長 吉田 茂君
理事松村 光三君	理事岡田喜久治君	森田 福市君	金光 唐夫君	大角 峰生君	大藏參與官	農林大臣
理事中村 繼男君		松田 正一君	前田房之助君	海軍大臣	大藏省主稅局長	大藏省外國爲替管理部長
		小川郷太郎君	矢野庄太郎君	高橋 是清君	石渡莊太郎君	大藏省理財局長 青木 一男君
				豊田 收君		和田 正彦君

フ考デ居タガ、此頃益其考ヲ深クシタ、即チ今日ハマダ輸入超過ノ季節デアルガ、モウ既ニ此頃ハ稍輸入爲替ノ方ガ減リ氣味アッテ、ソロ／＼モウ既ニ輸出爲替ノ方ガ殖エテ來ルヤウナ狀況ヲ呈シテ居ル、斯ウ云フヤウナコトヲ聞イテ居リマス、此位ノコトホカ私ハ申上ガルコトガ出來ナイ

○松村委員 爲替ノ事ハ又後ニ伺ヒマス

ヌ話ト思ヒマスル、併シ先程私ガ申上ガル

ガ、ソレハ觀測デアリマスカラ、無理カラ

通リ、今年ノ過去四十日間ニ早クモ一億以

上ノ輸入超過、成程棉花ガ主ナルモノデハ

アルガ、私ハ先程舉ゲマシタヤウナ軍需關係ノ品物ガ極端ナル増加デアルト云フコト

ニ思ヲ致シマスルナラバ、正金、日本銀行

當事者ガ、爲替ノ問題ハ別ト致シマシテ、

輸入ガ、マダ少シ觀測ハ早イヤウナモノノ、

昨年ヨリ入超ガ少クナルデアウト云フヤ

ウナ觀測ハ出來兼ネルノデハナイカ、現ニ

日本銀行總裁ハ昨日デアリマシタカ、總會ノ演説ニハ日本品ノ海外輸出ニ對スル壓迫ハ益、加重シテ居ル、軍縮會議其他ノ見透

モ中々面倒デアルカラ、財界ノ影響ハ遽ニ豫斷ハ許サドモノアリト斷定シテ居ルヤ

ウナコトカラ見マシテモ、本年度ノ入超ト云フコトハ、只今大藏大臣ガ御話ノヤウナ

——或ハ意見ノ相違ニナリマスルカ、是ハ直グ分ルコトデアリマス、無論爲替ノ問題ニハ觸レタクナイノデアリマスガ、サウ昨年ヨリ減ルデアラウト云フヤウナ觀測ハ付キ兼ヌルト思フノデアリマス、諄イヤウデアリマスルガ重ネテ御教ヲ願ヒマス

○高橋國務大臣 昨年ヨリ今年ガ輸入ガ減ルトカ殖エルトカ云フコトハ私ハ言ッタ譯

デナイ、外國貿易ノ關係スル所ノ最モ大ナルモノハ爲替相場ニ懸ツテ居ルカラ、其事ヲ

言フタノデアリマス、軍需工業ノ材料トナルモノガ多イ爲ニ、輸入超過ガ多クナッタキ

云フ御話デアルガ、之ヲ直シタイト云フノナラバ軍事費ヲ減ラスヨリ仕方ガナイ、ソ

ンナコトハ出來ナイ相談デアル

○松村委員 直シタイカ、直シタクナイカ

ト云フコトハ別ノ話ト致シマシテ、軍需工業ノ盛ナル結果、國內ノ工業デ間ニ合ハナ

イ、間ニ合ハナイ爲ニ直接軍需品ノ輸入ガ

支ニ付キマシテハ只今資料ヲ蒐集中デゴザ

イマシテ、數字ヲ以テ御示シスルマデニ達

シテ居リマセヌ、大體ヲ申シマスレバ、一

昨年即チ昭和八年ニ於ケル貿易外收支ノ經

常的受取超過額ハ八千七百餘萬圓デアリマ

シテ、昨年ハ是ヨリモ多少增加スル見込デ

居リマス、隨ヒマシテ貿易上ノ輸入超過ト

ト云フガ如キ、軍需工業其モノカラ延イテ

電氣機械ガ足リナインデ、海外ニ註文スル

ト云フガ如キ、軍需工業其モノカラ延イテ

關聯シテ、サウ云フ幾多ノ輸入增加ヲ來ス

ハ、大體ハ相殺シ得ルデハナイカト云フ見

云フコトハ、只今大藏大臣ガ御話ノヤウナ

導クノデアリマス、軍事費ノ根本ノ問題ハ直グ分ルコトデアリマス、無論爲替ノ問題ニ付テ次ニ伺ヒマスガ、一昨年度ハ、政府

ノ吾々ニ渡サレタ所ニ依リマスルト、受取

勘定ガ六千何百萬圓ト云フコトデアル、昨

年ノ大體國際貸借ノ觀測ハドンナコトデア

リマスルカ、大藏當局ニ伺ヒマス——昭和

九年度ニ於ケル大局觀デ宜シウゴザイマス

ス

○岡田委員長 一寸此間ニ松村サンニ御話

シテ置キマスガ、商工大臣ハ差支ヘマス、

今次官ガ見エテ居リマスカラ其御積リデ御

進行ヲ願ヒマス

○青木政府委員 昨年ノ國際貸借ニ付キマ

シテハ、貿易上ハ御存ジノ如ク一億四千三

百餘萬圓ノ入超デゴザイマス、貿易外ノ收

支ニ付キマシテハ只今資料ヲ蒐集中デゴザ

イマシテ、數字ヲ以テ御示シスルマデニ達

シテ居リマセヌ、大體ヲ申シマスレバ、一

昨年即チ昭和八年ニ於ケル貿易外收支ノ經

常的受取超過額ハ八千七百餘萬圓デアリマ

シテ、昨年ハ是ヨリモ多少增加スル見込デ

居リマス、隨ヒマシテ貿易上ノ輸入超過ト

ト云フガ如キ、軍需工業其モノカラ延イテ

電氣機械ガ足リナインデ、海外ニ註文スル

ト云フガ如キ、軍需工業其モノカラ延イテ

關聯シテ、サウ云フ幾多ノ輸入增加ヲ來ス

ハ、大體ハ相殺シ得ルデハナイカト云フ見

云フコトハ、只今大藏大臣ガ御話ノヤウナ

マシタ如ク、數字ノ内譯ヲ申上ガル迄ニ至ッ

テ居リマセヌ

○松村委員 昭和九年度ノ國際貸借ノハッキリシタコトハ見透ガ付カナイカモ知レナガ、大體トン／＼ニナルグラウト云フヤウナ話デアッタガ、是ハ何レ近ク分ル事デアルカラ、茲ニ議論スル迄モナイコトデアルガ、大藏當局トシテ此邊ノ觀測ヲ十分ニ付ケテ居ラナケレバ、是ハ由々シキ問題ガ起ルノデハナイカト思フ、正金銀行ノ兒玉頭取ハ責任アル一月初旬ノ財界觀測トシテ、昨年度ハ驚クベキ國際貸借ノ支拂增加デアッテ、マア見様ニモ依ルガ、新聞ニ傳フル所ニ依ルト、非常ナ大キナ支拂超過ト云フコトヲ兒玉サンハ明ニサレテ居ル、又民間、可ナリ有力ナル財界専門家ノ觀測ニ依テモ、昨年度ハ一億六千萬圓位ノ國際貸借ノ支拂超過デハナイカト云フコトヲ詳密ニ調查シテ居ル人ガアルノデアル、只今トントンデアルト云フヤウナコトヲ言ハレタガ、是ハ此處ニ幾ラ論ジテモ、大藏當局ハトン／＼デアルト觀測サレテ居ル、正金銀行ト云フガ如キ、軍需工業其モノカラ延イテ頭取ハ非常ナル支拂超過デアルト斷言サレテ居ル、民間モ亦一億六千萬圓以上ノ支拂超過デアルト斷定サレテ居ルノデアリマ

ス、是ハドウカ大藏當局ハ慎重ナル考慮ヲ

持タレマシテ、サウシテ國際貸借ノ關係ト

云フコトハ、延イテ幾多ノ關聯ヲ及ボシマ

スカラ、茲ニ重ネテ押問答ハ致シマセヌ

ガ、餘リニ其觀測ガ樂觀的デアルト云フコ

トヲ私ハ斷言シテ憚ラヌノデハナイカト思

フ、將來直グ分ルコトデアルカラ、此機會

ニ於テハッキリ大藏當局ノ觀測ノ甚ダ樂觀

的デアルト云フコトヲ單ニ申上ゲテ置クニ

止メタイト思ヒマス

然ラバ大藏大臣ニ伺ヒマスルガ、昭和十

年年度ニハ幾多ノ海外拂ガアル、先ヅ第一ニ

來年ノ一月一日、詰リ本年一パイニ満鐵ノ

シマスナラバ九千萬圓位返サナケレバナラ

ス、此問題ハハッキリ仰シヤルコトハ無論ム

ヅカシイ註文ト思ヒマスルガ、是ハ一體ド

ウナリマスカ、是ガ第一、第二ハ近時電力

會社ノ外債償還ヲ大藏省ハ禁止スルト云フ

——國際貸借ノ關係上デアラウト思フガ、

禁止スルト云フコトハ、屢新聞ニ傳ヘラレ

テ居リマスガ、左様ナ考ガ多少デモ大藏當

局ニアリヤ否ヤ、是ガ第二、第三ハ北満鐵

道ノ支拂ノ金ハ如何ナル方法ヲ以テ大體拂

ハレル方針デアルカ、此三ツノ點ニ付キマ

シテ御差支ナイ限リニ於キマシテ御答ヲ煩

シマス

○高橋國務大臣

政府ガ肩替リヲシテ居ル

南滿洲鐵道會社ノ外債ノ明年一月一日ノ支

拂ニ付テハ、別ニ御心配ハアリマセヌ、ソ

レカラ第一ハ何デシタナ……

○松村委員 電力會社ノ外債ノ償還ヲ禁止

スルカドウカ……

○高橋國務大臣 是ハ一體ナラ許サレナイ

ノヲ許シテ居ッタ、併ナガラ此頃ハ今買ハウ

ト云ッテモサウ向フデモ買ヘズ、今日之ヲ差

止メタカラト云ッテ——左様ナ窮屈ナコト

ニハ考ヘテ居ラヌ、詰リ是ハ我ガ資本ガ海

外ヘ出ルノダカラ、爲替管理法ニ依ッテ一

體出來ナイ事デアル、併ナガラ昨年アタリ

ハ先ヅ海外ノ貿易其他ノ勘定ニ於テ之ヲ許

シタカラト云ウテ、其影響ヲ爲替相場ニ著

シク及ボスヤウナコトハナイト思ッタカラ

シテ之ヲ許シタ、許シタモノ、中、マダ買切

レヌモノモアル、是ハモウ當業者ニモ話ヲ

シタガ、今日モ許サレタ金ガマダ使切レス

及バヌ、第三ハ何デシタカ

○松村委員 北満鐵道ノ支拂……

○高橋國務大臣 ソレモ御心配ニ及バヌ

(笑聲)

ラ材料ガ出ル考ヲ基礎トサレルト同時ニ、

ソコデ斯ウ云フヤウナコトヲ色々考慮

シ、又正金銀行ノ海外手持其外ノコトヲ考

ヘマスト、ドウモ爲替ノ清算資金ト云フカ、

安定資金ト云フカ、在外ノ手持方段々減ツ

テ行ッテ少クナル、是ハ御伺シテモ御答ナイ

ト思フカラ強ヒテ伺ビマセヌガ、非常ニ少

クナッテ居ルト云フコトハ、是ハ疑フベカラ

ザル事實ナノデス、多少ノ現送ハシタガ、是

ハ續イテノ入超デ、海外ノ資金ハ必シモ殖

エテナイト云フコトハ明瞭デアル、ソコデ

爲替ノ前途ニ付テ伺フノデアル、是ハ大藏

大臣ガ一番心配サレテ、一番心血ヲ注イデ

居ラレル事ト思フカラ、是ハ餘リ御伺シナ

イ方ガ宜シイカト思ヒマスガ、唯先程爲替

ノコトハ心配ナイト云フ簡簡單ナ御話デアリ

マシタガ、ドウモ私ハ此點ニ付キマシテ、

大藏大臣ト多少ノ見解ヲ異ニスル、成程過

去齋藤内閣以來爲替ノ值幅ガ非常ニ少ク

ナツタ、殊ニ昭和九年ハ僅ニ對米爲替ハ二弗

六十七仙シカ動カナイ、本年ハ大體大シタ

變化ハナイト云フ、是ハ高橋大藏大臣ノ面

前ニ於テ申上ゲルコトハ何デアルガ、是ハ

ハッキリ申上ゲテモ宜シイ、是ハ確ニ高橋サ

ンノ一大功績デアルト云フコトハ、天下何

セヌ

付テ差支ナイ心配ナイト云フ一語デハ、私共ハ満足出來ナイ、國際貸借ノ關係ハ先程サレル見込ハナイ、斯ウ云フヤウナコトヲ考ヘマスル時ニ、大藏大臣ハ唯知ラナイト云フ此一語——大藏大臣ノ一語ト雖モ、天下萬人ハ之ヲ果シテ承服スルヤ否ヤ、非常ニ疑問デアリマス、是ハ御互ニ國家ノ大問題デアリマスルガ故ニ、此上御伺セズニ、大藏大臣ノ慎重ナル考慮ヲ俟ツコトガ宜イト思ヒマス、私ガ何故ニ左様ナコトヲ申上ゲタカト云フト、現狀ニ顧ミルト、吾々ハ爲替ノ低落ト云フコトニ付テ多少ノ不安ヲ有テ居ル、幸ニ是ハ高橋サンガ居ラレルカラ天下モ稍安心シテ居ルヤウナモノ、高橋サント雖モ此大勢ニ對シテハ非常ニ御心配デアルト云フコトハ、蔭ナガラ御察シリノハ難カラヌ話デアリマスガ、何故斯様ナコトヲ言フカト云フト、先程モ申シタ通りニ、爲替ノ低落ハ即チ國民大衆、農民勞働者ニ激甚ナル影響ヲ及ボスモノデアリマスガ故ニ、此爲替ノ問題ヲ解決スルト云フコトハ、延イテ此種ノ問題ノ解決ニ一大關係ヲ有ツト云フコトデアリマスルカラ、ソコデ御伺シタノデアリマス、大體大藏大臣ガ常ニ言ハレル通り、爲替ハ人爲的ノ策ハム

ツカシイト云フ御話デアリマスガ、人爲的ト云フコトノ程度デアリマス、大體大藏大臣ハ爲替ハ今日以後下ルコトハ宜シクナイ、又出來得ル限り下ゲナイヤウナ工作ヲ講ジテ見タイト云フ御考デアリマスルカ、御伺致シマス

○高橋國務大臣 私ノ心配ヲナサルニ及バヌト云フコトハ、サウ無暗ニ悲觀シテ論ジテ、此席デ以テ言ウテ、ソレガ天下又海外ニモ及ボス、サウ云フ心配ヲシタカラ、心配ガナイト云フ話ヲシタノダ、之ヲ詳シク研究スルノハ別ノ話デアッテ、斯ウ云フ席ニ於テ將來爲替ハドウ政府ハ考ヘテ居ルカ、

何人ト雖モ、爲替ノ事ニ付テハ、將來此處デ爲替ガ上ルトカ下ルトカ言フコトハ出來ナイ、ト云フノハ他所ノ國ノ通貨ノ價ハ始終變ル、ソレカラ又爲替相場ガ下ッテ外國品ガ高クナッテ、ソレガ大衆ノ爲ニ惡イトカ云フヤウナ議論ハ、是ハ餘り褒メラレタ議論デハナイ(笑聲)ソレデヤ外國貿易ト云フモ似合シカラヌ暴論デアリマス、現ニ商工省カラハキリ先程申シマシタヤウニ、爲替モノハ、マルデ止メテシマッタラ宜カラウト考デモナイグラウ(笑聲)何ノ爲ニサウ云フ云フ論ニ歸著スルヤウニナル、サウ云フ御考デモナイグラウ(笑聲)何ノ爲ニサウ云フコトヲ御聽ニナルノカ、私ハ其眞意ガ分ラヌノデアル、世ノ中ノ爲ニナリ、國家ノ爲ニナルト云フコトナラバ、飽迄モ私ハ研究

シタイ、併シ是ハ餘リ詰メテ論ジテ見タ所デ、水掛論ト云フカ、何モ結果ハナクテ、念ガアルンダカラ、國民全體ニモ不安ノ念ガアル、斯ウ云フコトニ歸著シハシナイカ、之ヲ私ハ心配ヲスル

○松村委員 私ハ大藏大臣ト平面ハ御同感ヌト云フコトハ、サウ無暗ニ悲觀シテ論ジテ居ルカラ、先程カラ餘り聽カナイヤウニシテ居ル、考慮ヲ拂フト繰返シテ言ウテ居テ居ルカラ、ソレカラ餘り聽カナイヤウニシテ居ル、考慮ヲ拂フト繰返シテ言ウテ居テ居ルカラ、ソレ故ニ言ウテ居ルノデアリマスガ、只今大藏大臣ガ少シ暴論ヲ吐カレタ、爲替ノ事ヲ彼此レ言フナラバ、外國貿易ヲ止メルノカト云フコトハ、大藏大臣ニシテ、大藏大臣ハ時々ドウモ御憤慨ノヤウナコトヲ言ハレルガ、私ハ只今ノヤウナ半面ノ議論ニハ絶對承服致シマセヌ、何故ニアナタノ内閣ノ下ニ私ト同ジヤウナ意見ヲシナケレバナラヌノデアリマス

○高橋國務大臣 商工省ノ意見ト云フノハ、マルデ止メテシマッタラ宜カラウト考デモナイグラウ(笑聲)何ノ爲ニサウ云フニ警告シテ居ルデハアリマセヌカ、アナタラ、此犠牲者ヲ忘レテハナラヌゾト、天下ニ於テハ國民ニハ成ベク外國品ヲ使ハズニ、日用品ハ國產品デ濟マスヤウニト獎勵スルノハ、是ハ當然ノ話デアル、其意味ニ於テ警戒シテ居ルナラバ私ハ其警戒ハ宜イ

デヤナイカ、第一ソレガモト廣イ意味ニ於テ言ヘバ、今言フ通り輸入超過ノ爲ニ大衆ガ苦シムカラ、此輸入超過ト云フモノガ終始國民ヲ惱マス禍ニナルノダト云フダケレ、ソレヲ極論シテ追究シテ行クトドウナルカト云フト、今ノヤウナ警戒ノ範圍ヲ外ガ段々殖エテ來タ、其殖エタ結果ハ國民ニ禍ヲ貽スノダト云フ、其一方ノ弊害ノミヲ論ズルコトニナル、御承知ノ通リ貿易ハ輸入品モ殖エレバ輸出品モ殖エテ居ル、而モ輸入品ニ於テハ專ラ主トシテ原料品ノ輸入ガ主ナルモノ、ヤウニ、私ハ大體ニ於テ見テ居ル、我國ノ輸出ノ殖エルノハ製品ニ於テ殖エテ居ルト大體考ヘテ居ル、サウシテ見レバ外國ノ原料ヲ輸入シテ、之ニ我國民ガ加工シテ、其工賃ヲ込メタ製品ガ海外ニ出テ行ク、是ガ殖エテ居ル、サウシテ見レバ、國民一般ニソレダケノ工賃ヲ外國ガ拂フト云フコトニナル、唯是ハ分量ノ問題デ、輸入ヨリハ輸出ガ超過スルト言ヘバ、アナタモ能ク御満足爲サルニ違ヒナイ、今日デハ製品ノ輸入ノ殖エルヨリハ原料ガ多イ、原料品トシテ入ツテ來ル輸入品ノ方ノ殖エ方ガ多イカラ心配ハナイノダ

○松村委員 只今ノ御話ハ能ク拜承致シマ

シタ、今ノ御話ハ私共大體同ジ意見デス、唯併シ今迄ハ爲替ガ下レバ下ル程、輸出ガ簡易ニナツタカラ宜カツタノデアルケレドモ、是カラ先ハ爲替ガ下レバ下ル程海外ニ於ケル此爲替下落ノ對策ヲ講ゼラレルカラ、只今云フ通りニ、日本銀行總裁ガ一昨日言ウタ如クニ、是カラ先ハ爲替ガ下レバ下ル程、過去ニ於ケルガ如ク輸出ガ必シモ容易ニナラヌノデアルカラ、此處デ或ル程度マデ爲替ヲ安定サセルト云フコトガ非常ニ必要デアツチ、無論現在ノ輸入ノ状態ハ大藏大臣ノ仰シヤル通リデアルガ、併シ一方非常ニ軍需品其他ノ關係ニ於テ製品モ激増シテ居ルノデアルカラ、又國際貸借ノ關係ナドモ御考慮願ッテ、サウシテ是ハ爲替ノ安定期言テ居ルノデアルカラ、又國際貸借ノ關係ナラナケレバナラヌノニ拘ラズ、一方ハ五億ト云ヒ、一方ハ七億八千萬圓ト云フ計算ノ根柢トナルベキモノガ左様ナ程度ノ説明デハ分リマセヌ、モウ一度詳シク御説明願ヒタイト思ヒマス

○石渡政府委員 五億三千百萬圓ト申シマス數字ハ、御手許ニ差上ゲマシタ利益金額テ其七億八千八百萬圓カラ直グニ五億三千百萬圓ト云フ數字ハ出テ參ラナイト存ジマス、更ニ御説明致シマスレバ、其七億七千萬圓ト云フ數字ハ昭和八年ノ四月一日ヨリ致シマシテ昭和九年三月三十一日マデニ決定致シマシタ稅務署ノ昭和八年度ノ法人ノ所基礎ニ致シマシタ數字ハ、昭和八年八月一日ヨリ昭和九年七月三十一日ニ至ル間ノ法人ノ所得額其モノデハゴザイマセヌ、此臨時利得稅ヲ適用シテ決定ヲ受ケル所ノ其法人ノ利益ノ合計額デゴザイマセヌ、左様御承知ヲ願ヒタイト存ジマス

○松村委員 是ハ此間他ノ諸君カラモ屢々問ガアル通リニ、是ガ大藏省ノ一番問題ニ、稅務署ニ於キマシテ決定致シマシタル數字ヲ基ニ致シマシテ、此間ニ差額ヲ算出致シマシテ、詰リ一應此利得稅ノ賦課ヲ受ケル所ノ其差額ヲ見出ダシマシタ數字ガ五億三千百萬圓デゴザイマス

石渡政府委員カラ過般此稅ハ昭和八年力ラ九年八月末日迄ノ計算ニ於テ、五億三千百萬圓ト云フ法人所得ヲ基礎トシテ立テラフ法人所得ノ基礎ト、第一種法人所得ノ決定額七億八千萬圓ト云フ此數字ノ相違ハドウ云フ關係デアリマスカ、一應伺ヒマス

○石渡政府委員 五億三千百萬圓ト申シマス數字ハ、御手許ニ差上ゲマシタ利益金額テ其七億八千八百萬圓カラ直グニ五億三千百萬圓ト云フ數字ハ昭和八年ノ四月一日ヨリ致シマシテ昭和九年三月三十一日マデニ決定致シマシタ稅務署ノ昭和八年度ノ法人ノ所基礎ニ致シマシタ數字ハ、昭和八年八月一日ヨリ昭和九年七月三十一日ニ至ル間ノ法人ノ所得額其モノデハゴザイマセヌ、此臨時利得稅ヲ適用シテ決定ヲ受ケル所ノ其法人ノ利益ノ合計額デゴザイマセヌ、左様御承知ヲ願ヒタイト存ジマス

トナル中心ノ點ナノデス、課稅ノ收稅金額ヲ計算スル時ニハ非常ニ低ク計算シテ、サウシテ實際ハ非常ニ多クナルト云フコトハ、此處カラ出テ來ルノデヤナイカ、實際ノ所得ノ決定額ガ昭和八年度ニ於テ七億八千八百萬圓アル、決定額トハ何デアルカ、即チ課稅ノ目的物件デハナイノデスカ、其點ヲ一應伺ヒマス

○石渡政府委員 仰シヤル通リデゴザイマシテ、其間ニ數字ノ喰達ガゴザイマシテ、サウシテ此方ノ數字ガ五億三千百萬圓ニ減ッテ居リマスト、斯ウ云フ事實ニ付テ御不審ノアルコトハ御尤ト存ジマス、御尤ト存ジマスガ、七億八千萬圓ト云フ數字ハ總テノ法人所得ヲ決定致シマシタ決定額デゴザイマセガ、ソレカラ此五億三千百萬圓ト云フ數字ハ、詰リ臨時利得稅法ヲ受ケル法人ダケノ所得ノ合計額デゴザイマス、隨ヒマシテ昭和五年、六年當時ヨリモ増大シテ居ラナイト云フ法人ニ付キマシテ、即チ臨時利得稅ノ課稅ヲ受ケナイト云フ法人ノ利益金額ト云フモノハ、此數字ニハ計算サレテ居ラナイノデゴザイマス、隨ヒマシテ此數字ノ方ノ少イト云フコトハ、ソレハ已ムヲ得ナイ結果ダト存ジテ居リマス

○松村委員 大體ノ御説明ハ一應分リマシトハ、私ハ將來收稅ノ結果ノ上ニ於テ、非常ニ露骨ナ言葉デ言ヘバ、政府ハ「トリック」トハ思ハヌケレドモ、茲ニ私ハ誤リヲ生ズルト思フノデス

○石渡政府委員 ドウモ私説明ガ十分デゴザイマセヌノデ申譯ゴザイマセヌガ、例ヘバ此法人ノ數ニ致シマシテモ、昭和八年ハ八萬三千程ゴザイマシテ、其中課稅ヲ受ケテ居リマスル法人ノ數方、五萬何千カト思ッテ居リマス、此中一應利益金額ニ載ツテ参りマスル法人ノ數ハ一萬一千シカゴザイマセヌ、隨ヒマシテ總テノ課稅ニ於キマス五萬三千カラ二萬一千ト致シマスト、約三萬ノ法人ハ所得稅ノ課稅ハ受ケマスガ、利得稅ノ課稅ハ受ケナインデゴザイマス、隨テ此所得が減ッテ來ルト云フコトハ、舊來ノ結果カト思ヒマス、更ニ御手許ニ課稅法人數五千ト云フ數字ヲ差上ゲテ置キマシタル計算方法デアルデアラウ、必シモ國家ハ茲ニ「トリック」ナドヲ置クトハ思ハヌガ、カラヤッテ居リマスル、大藏省ノ稅務官吏ノヤル計算方法デアルデアラウ、必シモ國家ノ率ガ高過ギルト云フコトニナルガ、民間ノ經營デアル所ノ三菱研究所ノ全國千四百カノ會社ニ就テノ研究ニ依リマスト、昭和八年ノ法人ノ收益率ハ拂込資本ニ對シテ九分四厘ニナッテ居ル、又三井合名ノ會社調査ニ依ツテモ大體サウナッテ居ル、民間各種ノ新聞雜誌ガ可ナリ注意シタル研究ニ依テモ、大藏省ヨリモ實際ノ法人ノ收益率ガ多イト云フコトハ想像スルニ難クナイ、殊ニ三井合名ノ調査ノ如キハ全國ノ會社ノ六

カト思フ、苟モ昭和八年ニ於テ七億九千萬圓ノ決定所得額ガアル、ソレヲ昭和九年ノ大體法人所得ノ利益ノ計算ノ基礎ニ五億三千萬ト云フ非常ニ少イ數字ヲ取ッテ居ルコレ思ハヌケレドモ、茲ニ私ハ誤リヲ生ズル時ニハ、豫メ非常ニ少イ收益ノ時ニ、是モ二千圓引カレル會社ダ、是モ二千圓引カレル會社ダト言ツテ、豫定ハシテ置クガ、愈、タガ、是ハ必ズ實施ノ結果ハ稅務官吏ガヤバ此法人ノ數ニ致シマシテモ、昭和八年ハ八萬三千程ゴザイマシテ、其中課稅ヲ受ケテ居リマスル法人ノ數方、五萬何千カト思ッテ居リマス、此中一應利益金額ニ載ツテ参りマスル法人ノ數ハ一萬一千シカゴザイマセヌ、隨ヒマシテ總テノ課稅ニ於キマス五萬三千カラ二萬一千ト致シマスト、約三萬ノ法人ハ所得稅ノ課稅ハ受ケマスガ、利得稅ノ課稅ハ受ケナインデゴザイマス、隨テ此所得が減ッテ來ルト云フコトハ、舊來ノ結果カト思ヒマス、更ニ御手許ニ課稅法人數五千ト云フ數字ヲ差上ゲテ置キマシタル計算方法デアルデアラウ、必シモ國家ハ茲ニ「トリック」ナドヲ置クトハ思ハヌガ、カラヤッテ居リマスル、大藏省ノ稅務官吏ノヤル計算方法デアルデアラウ、必シモ國家ノ率ガ高過ギルト云フコトニナルガ、民間ノ經營デアル所ノ三菱研究所ノ全國千四百カノ會社ニ就テノ研究ニ依リマスト、昭和八年ノ法人ノ收益率ハ拂込資本ニ對シテ九分四厘ニナッテ居ル、又三井合名ノ會社調査ニ依ツテモ大體サウナッテ居ル、民間各種ノ新聞雜誌ガ可ナリ注意シタル研究ニ依テモ、大藏省ヨリモ實際ノ法人ノ收益率ガ多イト云フコトハ想像スルニ難クナイ、殊ニ三井合名ノ調査ノ如キハ全國ノ會社ノ六

デゴザイマス、隨ヒマシテ全體ノ法人數、又所得稅ノ課稅ヲ受ケマス法人數カラ致シマシテモ、先づ大體斯ウ云フ傾向ニアルノデアラウト存ジテ居リマス

○松村委員 大體ノ御説明ハ一應分リマシトハ、私ハ將來收稅ノ結果ノ上ニ於テ、非常ニ露骨ナ言葉デ言ヘバ、政府ハ「トリック」タガ、是ハ必ズ實施ノ結果ハ稅務官吏ガヤバ此法人ノ數ニ致シマシテモ、昭和八年ハ八萬三千程ゴザイマシテ、其中課稅ヲ受ケテ居リマスル法人ノ數方、五萬何千カト思ッテ居リマス、此中一應利益金額ニ載ツテ参りマスル法人ノ數ハ一萬一千シカゴザイマセヌ、隨ヒマシテ總テノ課稅ニ於キマス五萬三千カラ二萬一千ト致シマスト、約三萬ノ法人ハ所得稅ノ課稅ハ受ケマスガ、利得稅ノ課稅ハ受ケナインデゴザイマス、隨テ此所得が減ッテ來ルト云フコトハ、舊來ノ結果カト思ヒマス、更ニ御手許ニ課稅法人數五千ト云フ數字ヲ差上ゲテ置キマシタル計算方法デアルデアラウ、必シモ國家ハ茲ニ「トリック」ナドヲ置クトハ思ハヌガ、カラヤッテ居リマスル、大藏省ノ稅務官吏ノヤル計算方法デアルデアラウ、必シモ國家ノ率ガ高過ギルト云フコトニナルガ、民間ノ經營デアル所ノ三菱研究所ノ全國千四百カノ會社ニ就テノ研究ニ依リマスト、昭和八年ノ法人ノ收益率ハ拂込資本ニ對シテ九分四厘ニナッテ居ル、又三井合名ノ會社調査ニ依ツテモ大體サウナッテ居ル、民間各種ノ新聞雜誌ガ可ナリ注意シタル研究ニ依テモ、大藏省ヨリモ實際ノ法人ノ收益率ガ多イト云フコトハ想像スルニ難クナイ、殊ニ三井合名ノ調査ノ如キハ全國ノ會社ノ六

割五分ヲ一ツノ當ツテ居ル、全國ノ會社ノ六割五分ヲ一ツノ當ツテ居ル結果ガ、只今申シマシタヤウナ法人ノ收益率ハ大藏省ノ見テ居ル如ク低イモノデハナイ、若シ大藏省ノ見テ居ル如ク低イモノデアルナラバ、是ハ大藏省ノ官吏ノ怠慢ニアリマスゾ、全國總テ、殊ニ勸業銀行其外總テノ會社ガ詳密ニ調査シテ、責任アル書類トシテ現レテ居ル所ノ會社ノ收益率ハソンナ低イモノデハナイ、若シ大藏省ニ於テ實際ニ非常ニ低い調査ガ出來テ居ルトスルナラバ、是ハ會社ノ收益ヲ調査スル大藏省官吏ノ調査ガ、甚ダ不十分ト云フコトニナルノデアリマスガ、少ク共各方面カラ斯ウ云フ研究ヲ進メテ見マスト、大體大藏省ノ會社ノ收益率ト云フモノノ調査ノ標準ガ低イ、低イカラ只今ノヤウニ此法人所得ヲ計算スル時ニ、此稅ノ主體トナルモノガ五億三千萬圓ト云フヤウナ、非常ニ低イ標準ガ茲ニ出テ來ル、此處ハ餘程注意シテ下サラナイトイケナイ、實際私共ガ細カク計算シタ所ニ依リマスト、大體昭和十一年度ノ會社法人ノ利得ト云フモノハ、昭和九年末ノ拂込資本金ガ百五十億、是ハ大藏省ノ出シタ數字ヲ基礎トシタモノデスカラ先づ御異議ナイデセウガ、一應伺テ置キマス

○石渡政府委員 色々松村サンカラ有益ナル御意見ヲ拜聽致シマシタ、御答申上ゲマスガ、此利益率及拂込濟資本金ニ對スル率ナドニ付キマシテハ、是ハ私共ノ方ト致シマシテモ、各種ノ方面ノ調査ヲ一應研究ハ致シマシタ、御承知ノ通り、會社ノ數ノ少イモノモゴザイマス、又積立金ヲ入レマセズ、拂込濟ノ資本金ニ對シテ計算シテ居ルモノモゴザイマス、私ノ方ノ調査ハ、一應稅務署ニ於キマシテ其年ノ會社全部ニ瓦リマシテ拵ヘサセテ居ル數字デゴザイマシテ、七億八千萬ト云フ數字ハ仰シヤル通り、如何ニモ是ハ低イ數字デゴザイマセウ、是ハ此前モ御説明致シマシタ通り、稅務署ニ於テ所得ヲ決定致シマシタ數字デゴザイマス、然ラバ同年ニ於キマスル法人ノ利益ト云フモノハ幾ラアルカト申シマスルザイマス、是モ先達テ御手許ニ差上ゲテゴザイマス、小笠原委員カラ御質問ノアリテ、大體マシタ時ニモ御答致シマシタ通り、十億程ノ數字ガ得出テ居ルト思フノデゴザイマス、ソレダケハ一應御含ニナッテ居ル次第ト存ノデスガ、大體一方デハ會社ノ實情ニ通ジテ居リマス、大藏省ノ方デ調査致シマシタ、全體ノ拂込資本金額ト云フモノハ、是ハ民間竝ニ政府ノ下ニ監督サレテ居ル勸業其他ノ調査カラ出タ所ノ結論ニナルノデスガ、大體一方デハ會社ノ實情ニ通ジテ居ル人ハ、十五億ノ利益アリト觀テ居ハ、是ハ民間竝ニ政府ノ下ニ監督サレテ居ル人ハ、十億シカナイト觀テ居ル、大藏省ハ十億ノ相違ガ出テ來ル、一方デ會

資本金額ハ十二月末日ニ於キマシテ百四十三億九千五百五十一萬圓ト云フ數字ニナッテ居リマス

○松村委員 私モ此七億八千萬ト云フコトハ、是ハ實際ノ決定額デアルカラ、十億ト云フコトハ度々聞イテ居リマスカラ承知シテ居リマス、今ノ昭和八年度大藏省ハ百四十三億幾ラノ拂込資本金デアツテ、ソレニ昨年ノ實際ノモノヲ加ヘルト百五十億ニ大體ナルノデス、是ハ問題ナイ、此百五十億ニ對シテ大體大藏省ハ會社ノ收益ヲ十億萬圓ト計算シテ居ルガ、是ハドノ方面カラ計算マシテ大藏省ハ會社ノ收益ヲ十億萬圓致シマシテモ五十億萬圓ハ下ッテ居リマセヌ、是ハ勸業銀行ノ調、興業銀行ノ調、三菱研究所ノ調、其他各種ノ方面カラ調べテ致シマシテモ百五十億ノ拂込資本金ニ十箇所バカリヲ私ハ當テ見タガ、一番小サイモノヲ採ツテモ百五十億ノ拂込資本金ニ對シマシテ、昭和九年度ニ於キマスル會社イモノヲ採ツテモ百五十億ノ拂込資本金ニノ利得ハ、是ハ損ノアルモノモ差引シマシテ、大體ニ於テ十五億ヲ下ラヌト云フ數字ニナルノデス、十五億ヲ下ラヌト云フ數字ハ、是ハ民間竝ニ政府ノ下ニ監督サレテ居ル人ハ、十億シカナイト觀テ居ル、大藏省ハ十億ノ相違ガ出テ來ル、一方デ會社ノ利益金ヲ民間ハ十五億アリト觀ル、大藏省ハ十億ト内輪ニ計算スル、而モ此十億ノ中、決定所得額ハ更ニ控除スペキモノヲ取ルカラ、實際課稅ノ法人所得ハ五億三千萬シカナイト云フ、實際ノ收益ノ三分ノ一シカ、大體大藏省ハ見テ居ラナイ、實際ニ課稅ノ目的トナルモノハ、三分ノ一位シカ見テ居ラナイ、是ガ私ノ常ニ言フ所ノ、大藏省ガ——稅務官吏ガ利益ヲ出ス時ニハ非常ニ少イモノヲ出シテ置イテ、其結果非常ニ植エルト云フコトハ此處カラ出テ來ル、戰時利得稅ノヤウナ突飛ナモノハ私ハ必シモ例ニ舉ゲマセヌ、政府ハ初メハ四千萬圓カ五千萬圓ノ僅カナモノヲ見テ居タノニ、結局一億六千萬トナッタト云フヤウナ、特別ナ場合ハ必シモ引證セヌガ、大藏省當局ガ常ニ自慢シテ居ル所ノ自然增收トハ何カラ來ルカ、自然增收トハ基礎ノ計算ガ甚ダ内輪デアルト云フ所カラ來ルノデアル、大體此處ニ私ハ大藏省ノ、三千萬圓——平年度四千萬圓ト云フ本稅ノ基礎ガ根本カラ違フノデハナイカ、是ハ議論ヲ差挾ムヨリモ、私ハ斷言シテ置ク、必ズヤ昭和十年、十一年度ニ於キマシテ、三千萬圓、四千萬圓ナドト云フ少イ額デハナイ、驚クベキ増額ガ必ズ持來サレルト云フコトヲ、私ハ是等ノ數

字ヲ細カク各方面カラ洗ッテ見テ断定スルニ憚ラヌ、此點ニ付キマシテ大藏省ハソレデモ尙ホ大藏省ノ調査ハ必シモ内輪ヂナイ、三千萬圓乃至四千萬圓、平年度ニ於テ多大ノ見當違ヒハナイト云フコトヲ斷言セラレマスカ、ドウデスカ、茲ニ一應伺ッテ

○石渡政府委員 先程申上ゲマシタ五億ニ
千萬ト申シマスル此臨時利得税ノ基礎ニ
ナツテ居リマス所ノ數字ハ、是ハ此前モ申
上ゲマシタ通り、稅務署ノ決定致シマシタ
其所得ヲ一ツノ會社ニ當リマシテ、此
稅法ヲ適用シタラバ幾ラニ相成ルノカト云
フコトデ、其稅務署ノ管内ニ於キマスル法
人ニ付テ一々皆當ツタノデゴザイマス、ソレ
デ其法人ニ當リマシテ、ソレヲ積上ゲテ參
リマシテ合計致シマシタル數字ガ五億三
千萬、斯ウ云フ數字デゴザイマス、併シ是
ハ重ネテ申シマスルガ、將來ノ數字デナクテ
テ、過去ノ數字デゴザイマス、如何ニモ昭
和八年ノ八月カラ昭和九年ノ七月マニ稅
務署ニ於キマシテ其時ノ狀況ニ於テ會社二
ツ一ツ當ツテ、此法律ヲ適用シテ見タラ幾ラ
ニ相成ルカト、斯ウ云フ數字ノ算盤ヲ彈イ
タノデゴザイマス、ソレデゴザイマスカラ

數字ダケデハ、イケナイ、斯ウ思ッタノデ
アルト云フヤウナ、其當時ヨリノ輿論モア
リマスノデ、色々之ヲ考ヘマシタ結果、元
ノ數字ヲ三割膨ラマセマシタ、ソレデゴザ
イマスカラ五億三千萬ガ今回ノ見積ニ現レ
テ居リマスノハ、三割増加致シテ居リマス
ルカラ、六億九千萬カノ數字ニナッテ居リ
マス、ソレヲ基ニ致シマシテ計算致シタノ
デゴザイマス、併シ固ヨリ是ハ豫算デゴザ
イマスルカラ、必ズ其通り入ル、決シテ過
小ニアラズ、又絶対ニ過大ニアラズ、斯ウ
云フコトハ申上ゲ兼ネルノデゴザイマス、
併ナガラ豫算ノ數字ト致シマシテハ、決シ
テ之ニ過小ノ見積モ加ヘテアラズ、又過大
ト云フヤウナ考カラ致シテ出發致シタモノ
デゴザイマセヌ、豫算ノ當時ニ於キマシテ、
大體此點ニ於テ適當デアラウト云フ所ノ見
極メヲ致シテ算出致シマシタ數字デゴザイ
マシテ、決シテ仰シヤルヤウニ政府ガ態々
之ニ過小ノ見積ヲ加ヘタト云フガ如キコト
ハ断ジテナイ、斯ウ信ジテ居リマス次第デ
アリマス

ルト云フ從來ノ状態デアル、大藏省ハ非常ニ確信ヲ有ツナラバ、昭和八年カラ九年ニ掛ケテノモノヲ十年度ハ三割増スト云フ論據ハ何處カラ出テ來マスカ、其三割増ノ論據ヲ伺ヒマス

ニ増シテ居リマセヌ、周密ナル統計ヲ取リマシテモ一割強シカ會社ノ收益ハ増シテ居リマセヌ、ソレダカラシテ唯實際ニ當ラレテ見タラ、其前年ニ比較シテ一割強シカ増シテ居ラヌ、三割増スト云フ論據ハ、是ハ從來非常ニ低クヤッテ居ルカラ三割位増シテモ宜カラウト云フコトニナル、法人所得ニ付テ假ニソレヲ認メルトシテモ、此臨時利得税ニ於テ、同ジ筆法デ之ヲ三割増スナドト云フコトハ是ハ非常ニ間違タ結論デアル、況ヤ法人ノ收益ハ一割シカ大體利得ハ増シテ居ラヌノダカラ、三割増スト云フコトガ間違デアルト同時ニ、臨時利得税ヲ三割増スト云フコトハ非常ニ間違デスゾ、間違デアッテモ尙且ツ私ハ此見積ガ少イトイ云フコトハ何處カラ來ルカト根本ニ遡テ見ルト、稅務署ノ計算ノ五億三千萬圓ト云フモノガ根本的ノ誤リデアル、若シソレニ確信ガアルナラバ、大體三割増シテ見ヨウナドト云フ出鱈目ナ數字ハ出ナイ筈デアル、是ハ明ニ昨年ト一昨年ヲ比較スルナラバ、法人會社ノ收益率ハ一割強シカ増シテ居ラヌ、三割増スト云フコトノ論據ガ薄弱デアル、是ハ大體見積ガ常ニ少イカラ、三割位増シテモ宜イグラウト云フコトカラ、漫然私ハヤフタコトデハナイカト思フ、重不

和八年ノ八月カラ昭和九年ノ七月マデニ税務署ニ於キマシテ其時ノ狀況ニ於テ會社一ツ一ツ當^{アリ}テ、此法律ヲ適用シテ見タラ幾ラ幾ルカト、斯ウ云フ數字ノ算盤ヲ彈イタノデゴザイマス、ソレデゴザイマスカラ之ヲ將來ニ應用スル上ニ於キマシテハ、此

マシテ 決シテ仰シヤルヤウニ政府ガ態々
之ニ過小ノ見積ヲ加ヘタト云フガ如キコト
ハ斷ジテナイ、斯ウ信ジテ居リマス次第デ
アリマス

○松村委員 是ハ議論ヲシテモ意見ノ相違
ニナリマスガ、私ハ繰返シテ申シマス、殊
ニ新稅ヲ設クル場合ニ於テハ、大藏省ノ査

マシテ、三割増ヲ見込ンダ次第デゴザイマス、詰リ法人ノ所得ガ幾ラカ増大致スト、斯ウ云フ所カラ致シマシテ見込ミマシタ數字デゴザイマス

○松村委員 是ハ他日ニ残ルコトデスカラハツキリ私ハ茲ニ言ウテ置キタイ、昨年ト本年ヲ較ベテ、法人ノ利得ハ三割ナドハ絶對

ナドト云フ 出鱈目ナ數字ハ 出ナイ筈デア
ル、是ハ明ニ昨年ト一昨年ヲ比較スルナラ
バ、法人會社ノ収益率ハ一割強シカ増シテ
居ラヌ、三割増ト云フコトノ論據ガ薄弱デ
アル、是ハ大體見積ガ常ニ少イカラ、三割
位増シテモ宜イダラウト云フコトカラ、漫
然私ハヤフタコトデハナイカト思フ、重ネ

○松村委員 是ハ議論ヲシテモ意見ノ相違

○松村委員 是ハ他日ニ殘ルコトデスカラ

アル、是ハ大體見讀ガ常ニ少イカラ、三割

第六類第一號 昭和十一年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外一件委員會議錄

テ三割増ト云フコトニ付テハ數字上シカ
リシタ根據ガアリマスカ、伺ッテ置キタイト
思ヒマス

○石渡政府委員 稅務署ノ決定額ニ對シマ
シテ三割増ト申上ゲマスト、是ハ一般豫算
ノ歳入ノ方針ト致シマシテ、先達モ豫算
分科會ニ於テ御説明致シマシタモノデゴザ
イマス、ソレデ政府ト致シマシテハ大體ニ
於キマシテ法人ノ所得額ガ増シテ行クト云
フ趨勢ヲ見テ居リマスノデ、此趨勢ニ從ヒ
マシテ一般豫算ヲ編成シタノデゴザイマス
ガ、其傾向ト同ジ傾向ヲ今年モ見テ居ルノ
デゴザイマス、隨ヒマシテ茲ニ同様ナル歩
調ヲ以テ本稅ノ豫算ヲ見積ッタ次第デゴザ
イマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○松村委員 重ネテ言ッテモ無益ダト思ヒ
マスカラ私ハ結論ヲ申シテ置キマスガ、三
割増ト云フ大藏省ノ言葉ハ、大體目ノ子勘
定デ、モウ少シ餘計取リタイカラ三割増ト
云フヤウナ結論ニナルノデハナイカト思
フ、併シ實際ノ狀態ハ、會社ノ收益ノ率ノ
割合ハ一割強シカ增シテ居リマセヌゾ

○石渡政府委員 每年比例シテ行ク收益ノ
狀態ト云フモノト、稅務署ノ決定トハ、大
體ニ於テ合フベキ筈ダト思ヒマス、其間ニ
或ル場合ニ於キマシテ喰違ヒノ出來ルコト
ハ起ルモノデゴザイマス、稅務署ノ方ハ決定
額ヲ標準ニシテ、從來豫算ヲ組ンデ居リマ
スノデ——決定濟額ト云フモノヲ見テ行ク
ト云フコトニナツテ居リマスノデ、一箇年ノ
統計ニ現レマシタ數字ガ、幾ラカ其間ニ變ッ
テ來ルモノダト思ヒマス、先程御話ノ通り
八年度ノ稅務署ノ決定額ハ七億八千萬圓ト
云フ數字デゴザイマスルノデ、其間ニ於ケ
ル差ガ幾ラカ生ズルト云フコトハ、已ムヲ
得ナイカト斯ウ存ズルノデゴザイマス
○岡田委員長 松村君、此項目デマダ質問
ガアリマスカ

○松村委員 今ノ所ハ是デ終ッテ置キマス
ガ、兎ニ角是ハドウカ大藏省ハシッカリ考
ヘテ置イテ貰ッテ、茲ニ記録ニ留メテ置キタ
イ、三割増ト云フ計算ハ是ハ非常ニ間違デ
アッテ、若シ今迄稅務署ノ實際ノ所得ノ取方
ガ緩慢デナイ限りハ、昨年カラ本年ニ比較
シマシテ三割増ハ断ジテアリマセヌ、從來
ノヤリ方ガ誤リデアルカ、緩慢デアルカラ
デ、若モ緩慢デナイナラバ、本年ノ所得收
入ノ方ガ三割増ニナラヌ筈デアル、臨時利
得稅ノ基礎ハ非常ニ少イ額ヲ基礎トシテ居
ルカラ、是ハ三千萬圓ドコロデナク、ソレ
ヨリ遥ニ多イト思フ、他ノ諸君ノ言ハレ
タ通り、或ハ倍額、六千萬圓以上ノ增收ガ

アルト云フコトヲ茲ニ斷言シテ置ク、ソコ
デ大藏大臣ニ伺ヒマスガ、是ハ意見ノ相違
デアルカラ、今迄ノ事ハ之ニ止メマスガ、三
千萬圓、四千萬圓ニ基礎ヲ置イテ居ラル、
ガ、實際收稅ノ結果ガ非常ニ多額ニ殖エタ
場合ニハ、大藏省ハ之ヲ如何ニ利用サレル
カ、非常ナ見込違ヒノ場合ニ對スル所ノ大
藏大臣トシテノ御考ヲ一應伺ッテ置キマス
○高橋國務大臣 自然增收ノアッタ場合ニ、
其自然增收ヲ如何ニ使フカト云フコトニ付
テ今私ハ考ヲ有ツテ居リマセヌ、但シ赤字公
債ノ出ル間ハ自然增收ト云フモノハ矢張公
債ノ發行額ヲ減ラス方ニ充ツルガ本當ダラ
ウト思フ

○松村委員 一應是デ終ヒマスガ、マダ稅
ノ本體ニ關シマシテモウ少シ御伺致シマス
アッテ、若シ今迄稅務署ノ實際ノ所得ノ取方
ス、是デ休憩致シマス

午後二時八分開議

○岡田委員長 是ヨリ開會致シマス、松岡
君ガ松村君ノ質問ニ關聯シテ質問ヲシタイ
ト云フコトデアリマスガ、松岡君ハ病ヲ押
シテ御出デニナツテ居ルヤウデアリマスカ
ガ、此點ニ付テ大藏當局ノ御意見ヲ承リタ
イト思ヒマス

○松岡俊三君 私極ク簡單デアリマスカラ
御許ヲ願ヒタイト思ヒマス——前議會デ所
得稅ノ改正案ヲ大口君並ニ私共デ提案シ、
兩院ヲ通過シテ現ニ施行サレテ、實施中デ
アリマスルアノ所得稅改正ニ關聯シタ問題
デアリマスガ、二割乃至三割ノ高率ノ配當
ヲシテ居ルト云フ問題ニ付テハ、此所得稅
ヲ課セラル、ト云フコトハ、理ノ當否ハ別
ト致シマシテ、現在多額ノ繰越ノ損失金ヲ
有ツテ居ッテ、此モノハ最モ不健康體ナモノ
デアルト云フノデ、先般所得稅法ガ改正セ
ラレテ、現ニ實施中デアリマスルガ、之ニ
リマスルト云フト、普通所得、超過所得ノ
對シテ今回ノ利得稅ガ課セラル、コトニナ
リマスルト云フト、普通所得、超過所得ノ
ヲ受ケルコト、ナルト思フノデアリマス、
折角前議會ニ於テ改正セラレタル法人ノ所
得ニ對シテ、更ニ今回課セラル、ヤウナコ
トニナルト、自力更生ハ全ク出來ナイコト
トニナルト、斯ウ云フ工合ニ配當ヲ爲スコトノ
出來ナイ不健全ナル法人ニ付テハ、今回ノ
利得稅ハ如何様ニナルノデアリマスルカ、
產業政策上實ニ爲政者トシテ大ニ注意セン
ケレバナラヌコトダト思フノデアリマスカ
ガ、此點ニ付テ大藏當局ノ御意見ヲ承リタ

尙ホ五分ノ開キト仰シヤイマシタガ、其當時ト今回ト比較ナサル數字ハ、一割ト七分利得稅ノ二分ト申シマスルノヲ引イタト云フ所ハ、一體何處カラ來テ居ルノカ、斯ウ云フコトニ付キマシテ是ハ色々各種ノ立法例モ調査致シテ見タノデゴザイマスガ、此戰時利得稅ニ何割ノ増加率ヲ引クト云フヤウナコトヲ致シタ立法例ハ、見當ラナイノデゴザイマス、ソレデ其當時ノ此一割ニ對シテ、モウ一分ダケノ増加率ト云フモノヲ引イタ、サウ云フコトヲ、我國ニ於テ大正七年ニ行ヒマシタコトハ、其當時ノ物價ノ非常ナル騰貴率ト云フモノニ關係シテ行ハレタコトデアラウト思フノデゴザイマス、即チ三倍ニモ相成ッタ所ノ一般ノ物價騰貴ノ増加率ト云フモノヲ見テ、サウシテソコニ或ル程度ノ限界ト云フモノヲ置イタ方ガ宜クハナカラウカト云フ所カラ、出發シテ居ルト思ヒマス、今回一律ニ二千圓ヲ控除致シマス此二千圓ノ控除ノ趣旨ト、其趣旨ニ於キマシテ相似タル所ガアルト思フノデゴザイマス、ソ味致シマシテ、私ハ茲ニ二割ト云フモノ、控レニ其當時ノ物價騰貴ノ異常ナル趨勢ヲ加

○松村委員 遺憾ナガラ 段々分ラナタナッテ、段々不徹底ノ説明ニナッタコトハ非常ニ困ル、私ハモウ少シ明快ナル論據ガアルト思ッタガ、段々説明ガ徹底シナイ、何故ナラバ金利ノ問題ニ付テ日本銀行ノ割引ヲ擧ゲラレタガ、是ハ人々議論ガアリマスガ、今日日本銀行ハ總括的ノ金融ノ中権統制機關デアルガ、私共ノ申シマスル金利ト云フコトハ、日本銀行ノ金利ヨリモ寧ロ市中民間銀行ノ定期預金、何故ナラバ株ヲ持ツ人ハ利廻ヲ見ルノデアリマスカラ、其定期預金ノ利子ヨリ幾ラカ高クナケレバ株ヲ持タナイ、日本銀行ノ貸付金利ト云フモノハ、斯ウ云フ投資ノ問題ヲ論ズルトキニハ多少ノ参考ニハナルガ、是ハ餘り参考ニナラナイ、日本銀行ノ金融ノ統帥權ト云フモノガ非常ニ薄弱ナル今日ニ於テハ、民間銀行ノ定期預金ヲ基礎トシナケレバナラヌコトハ、是ハ獨リ日本バカリデハナイ、定論ガアル、日本銀行ノ貸付利子ナドヲ擧ゲラレルコトハ、大シタ参考ニハナラヌ、私ノ先程問ハントシタ所ハ、民間銀行ノ定期預金其他總テノ證券ノ利廻ヲ基礎トシテ、公債ハ幾ラ、社債ハ幾ラ、更ニ株券デアルナラバ、民間ノ定期預金其他ノ利廻カラ幾ラカ高クナラナケレバ、大體證券ニ投資ス

故ニ戰後ノ狀態ニ於チハ、大體少クトモ七
分八分ノ配當ガナケレバ投資シナカッタ、今
日デハ先ヅ六分見當ノ確實ナ配當ガアルモ
ノナラバ、投資サレルノデアル、ソコデ戰時
狀態ト今日ノ狀態トノ間ハ、實際ノ其間ノ
開キハ先ヅ二分アルカナイカト云フ程度デ
アル、投資ノ利廻ハ、私ノ言フ金利ト云フ
コトヲ基礎トスルナラバ、日銀ノ割引問題
ナドハ此際餘リ大シテ問題デアリマセヌ
第一ニ石渡サンハ一割ト七分ヲ比較スレ
バ宜イト言ハレマシタガ、ソレガ非常ナ間
違デアル、一割ノ外ニ完全ニ又其一割ノ二
分ヲ「マーデン」トシテ、ハッキリ全部ノ法人
ニ認メテ居ルカラ、一割二分デアル、今回
ハ七分ノ外ニ僅カ二千圓デアルカラ、大藏
大臣ガ説明サレタ如ク、此二千圓ハ小サイ
會社ヲ救濟スル趣旨デアルカラ、大キナ會
社ハ問題デナイ、石渡サン自身モ斯ウ答辯
サレテ居ル、果シテ然ラバ比較ハ一割二分ト
七分ノ差五分ガ、戰時ト今日ノ間ニアルト
云フコトハ否定スベカラザル事實デアル、
フナラバ除外スレバ正シイ結論ガ出ル、サ
偶ニ二千圓ト云フ滑稽ナ數字ガアルカラ、是
ハ全部除外シテ差支ナイ、議論ノ上カラ言
ウ云フコトヲ考ヘルトキニ、私ハ今ノヤウ

ハ七分シカ認メナイト云フ論據ガハッキリシナイ、アナタノ説明ヲ聞イテ益、疑惑ガ増スノデアルガ、モウ少シ明快ナル論據ハナイデスカ

○石渡政府委員 參考ニスルト申上ゲタノデゴザイマシテ、今日ノ低金利ノ時代ト、其當時ノ金利ノ開キト云フ點ヲ申シタノデゴザイマシテ、ソレハ参考ニハ致シマシタガ、七分ト云フコトヲ決定致シマシタ主ナ論據ハ、先程モ申シマシタ通り昭和五六年當時ニ於テ、四分乃至五分ノ間ニアッタ所シテ、其利益率ヲ七分ニ致シタ、四分五分ト云フモノヲ標準トスルコトハ此處ニアル、斯ウ云フコトカラ致シマシテ、ソコニ多少餘裕ヲ置イテ七分ニ致シタ、斯ウ云フコトデゴザイマス

○松村委員 尚ホ前ニ、何割ト大戦體時利得税ニ決メタ所ハ各國ノ先例ニナイト、一寸言ツテ居ラレマシタガ、ソレハドウ云フ意味デアリマスカ、重ネテ伺ヒマス

○石渡政府委員 何割ト申シマスル、詰り一割、其當時ハ一制ト云フモノヲ一應決メマシテ、其上ニモウ二分、即チアナタノ仰シヤル所ノ一割二分ト云フモノ、限界ヲ認

メタ、此二分ト云フ限界ノ認メ方ヲ、之ヲ私ハ申上ゲテ居ルノデアリマシテ、是ハ松村サンモ御承知ノ通り、獨リ法人バカリデゴザイマセヌ、戰時利得稅ニ於キマシテハ、個人ニ於テモ矢張二分ノ増加歩合ト云フモノヲ認メテ來タノデアリマス、斯ウ云フ認ヌ方ヲ致シテ居ル立法例ト云フモノハ、ドウモ私共見當ラナイト、斯ウ申上ゲテ居リマス次第デゴザイマス

○松村委員 重ネテ伺ヒマスガ、其引イタ外ニ更ニ「マーデン」ヲ認メタモノデハナイト云フ意味デアリマスカ、ソレトモ何割ト云フモノヲ初メカラ認メタモノハナイト云フ意味デアリマスカ、ソコノ所ガ御説明ガハッキリシマセヌ

○石渡政府委員 「マーデン」ノ限界ノ認メ方ガ、資本金ニ對シテ何割ト云フヤウナ認メ方ヲシテ居ルノガ見當ラナイ、斯ウ云フコトデゴザイマシテ、其限界ハ今回提案致シマシタ通り、一千圓トカ、三千圓トカ、千圓トカ、サウ云フ單一ノ數字デ切ッテ行クト云フノガ普通デアル、斯ウ申上ゲマシタ次第デアリマス

○松村委員 其御説明ナラバ、ソレハ大シタ問題ニナラナイ、初メカラ一割ト云フモノヲ舉ゲテ置ケバ「マーデン」ヲ認メルカ、

認メナイカト云フコトハ枝葉末節ノ問題デアル、戰時利得稅ノ先例ニ於キマシテモ、各國共ニ「マーデン」ヲ認メタ所ハ澤山アル、加奈陀ノ如キハ拂込資金ノ七分ヲ押ヘテ居ルガ、伊太利ハ普通ノ商工業ニ對シテハ八分、仲介業ニ對シテハ一割、斯ウ云フヤウニ「マーデン」ヲ廣ク取テ居ッテ、初メカラ一割モ矢張控除シテ居ル國ガ澤山アルノダカラ、今ノ二割ダケ「マーデン」ヲ彼此レ言ハレルガ、初メカラ控除額ヲ多クシテ置ケバ、「マーデン」ヲ認メルカ認メナイカト云フコトハ、枝葉末節ノ問題デアルカラ、ソレハ議論ニナラナイ、戰時利得稅ニ於テハ伊太利、加奈陀其他矢張各國ノ先例ガ澤山アリマス、是ハ強ヒテ爭フ必要ハナイガ、茲ニ私ノ調べタ中ニモ戰時利得稅ノ各國ノ實例等ガ澤山アリマス

○石渡政府委員 松村サンノ仰シヤルコトハ、詰リ資本金及其積立金ノ合計額ニ對シテ百分ノ六ト決メルカ、七ト決メルカ、八ト決メルカ、此「マーデン」ノ問題デアラウカト思フノデアリマスルガ、私ノ申上ゲテ居リマスルノハ、戰時利得稅ニ於キマシテソレハ一割ト認メタ、其上モウ百分ノ二ト云フモノ、率ヲ認メタノデゴザイマス、其認メ方ヲシテ居ル所ガドウモ見當ラナイ

ト、斯ウ申シテ居ル次第デゴザイマス、左様御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○松村委員 ソレハ大シタ問題デナイカト、餘リ議論ヲシナイ、私ノ言フコトハ初メカラ澤山控除シテ置ケバ、ソンナコトハ議論トナラナイ、又併シ強ヒテスレバ、此處ニ細カイコトガアルケレドモ、サウ云フコトハ此處ニ調査シタ参考文獻ヲ讀上ゲテモ宜イガ、細カイコトニナルカラ止メテ置ク、斯ウ云フ議論ハ結局初メカラ一割ヲ認メルカ、認メナイカト云フコトニナルノダカラ、サウ云フ文獻ガアルカナイカト云フハ伊太利、加奈陀其他矢張各國ノ先例ガ澤山アリマス、是ハ強ヒテ争フ必要ハナイガ、茲ニ私ノ調べタ中ニモ戰時利得稅ノ各國ノ實例等ガ澤山アリマス

○石渡政府委員 松村サンノ仰シヤルコトハ、詰リ資本金及其積立金ノ合計額ニ對シテハ、各國ノ立法例ハ色々アル、大體日本ガ真似ヲシタ獨逸トカ奥地利トカ其他ノ國ハ、日本ト同ジヤウニ、大體過去ノ五回ノ營業年度ノ中デ、尙ホ細カイコトハ色々規定ガアルガ、サウ云フヤウナ實例ハ多イガ、ウニ思フノデゴザイマスルガ、ドウモ配當マシテ、如何様ニモ變化シ得ルモノデゴザイマスルノデ、是ハ我國ノ此前ノ戰時利得稅ノ場合ニ於キマシテモ、又其他ノ國ノ立法例ヲ見マシテモ、又今回ニ於キマシテモ總テ會社ノ利益率ト云フモノヲ元ニ致シテ計算致シタ方ガ宜カラウ、斯ウ云フ考カラ致シマシテ、利益率ト云フモノヲ見マシテシヤル通リ決シテ此爲ニ合理的ナ配當ガ、出來ナイモノデアルトハ考ヘテ居ラヌノデ

ゴザイマス、之ニ依リマシテ相當合理的ナ配當ハ、出來得ルモノト思フノデゴザイマス

○松村委員 ドウモ石渡君ノ答辯ハ私ノ聽

カント欲シタ本旨ヲ、ハッキリ擱ンデ居ラナ

イ、私ノ聽イタノハ個人所得稅ニ於テ生活

ノ最低限度ヲ控除スルト云フコトハ、生活

權ノ問題ト關聯シテ、日本ガ千二百圓ナラ

千二百圓ヲ控除スル、各國トモ大體生活權

ヲ確保シテ所得稅ヲ控除スルト云フコト

ハ、是ハ最早所得稅ノ根本原則デアルガ、

ソレト同ジヤウニ法人所得ニ付テモ、其會

社ハドレ位ノ利益ヲ擧ゲナケレバ、其會社

ハ立行カヌト云フ大體其時ノ社會通念ニ依

ル法人存立ノ基礎的觀念方當然アル、其社

會ノ認メタル通念ヲ基礎トシテ控除スル方

ガ、大藏省ガ稅務官吏ヲ使ツテ色々撫ネ廻シ

ウニシタ控除額ノ方ガ合理的デハナイカ、

斯ウ云フ意味デアリマス

○石渡政府委員 ドウモ私考ヘマス所デ

ハ、色々御説ガアリマスガ、配當率ト云フ

コトヲ考慮致シマスヨリモ、利益率ヲ考慮

致シタ方ガ、合理的ダト思フノデアリマス、ソレハドウシマシテモ配當率ト申シマスル

モノヲ考ニ入レマスコトハ、其會社ノ内容、資本金ノ如何ニ依リマシテ、配當率ト申シ

マスモノハ、是ハ多少語弊ハゴザイマスガ、如何ヤウニモ變更致スコトガ出來ルモノデ

アリマスルカラ、一定ノ利益率ト云フモノヲ決メタ方ガ宜イト思フノデアリマス、サ

ウシテゾレヲ目標ニシテ法律ヲ組ンダ方ガ

宜イト思フノデアリマス、又只今生活權ト

云フ御話ガゴザイマシタガ、是ハ松村サン

モ能ク御存ジノ通り、我國ノ所得稅ニゴザ

イマスガ、是ハ個人ノ所得稅ノ問題デアリ

マシテ、法人ノ所得稅ニハ一切免稅點ハゴ

ザイマセヌ、左様御承知ヲ願ヒマス

○松村委員 マダハッキリ擱ンデ居ラナイ

ヤウデアリマス、私ノ申上ゲル配當々々ト

云フノハ、個々ノ會社ノ配當ハドウダ、斯

ウダ、ソンナ個々ノ會社ノ配當ヲ手加減ス

ルト云フヤウナ、今御答ノヤウナコトハ私

ハ聽イテハ居ラナイ、其時々々ノ社會通念

ニ依ッテ、會社ヲ苟モ經營スル場合ニハ、ド

ウニシタ控除額ノ方ガ合理的デハナイカ、

斯ウ云フ意味デアリマス

○石渡政府委員 ドウモ私考ヘマス所デ

ハ、色々御説ガアリマスガ、配當率ト云フ

コトヲ考慮致シマスヨリモ、利益率ヲ考慮

致シタ方ガ、合理的ダト思フノデアリマス、ソレハドウシマシテモ配當率ト申シマスル

通念、社會一般ガ認メタル所ノ配當ト云フ

モノヲ基礎トシナケレバ、本當ニ會社事業ナド、云フモノハ、勃興スルモノデナイ、

其處ガアナタノ非常ニ考ガ間違ッテ居リハ

シマイカト思フノハ、其個々ノ會社ノ配當

率ト云フコトヲ、私ハ言ツテ居ルノデハナイ、

社會通念ニ依ル會社配當率ヲ一應控除スル

方ガ——成程法人ノ場合ニ於テハ左様ナコ

トヲ認メナイト云フコトハ、法人ノ場合ニ

メナインデ、又此個人ト法人ト區別シテ考

於テハ殊ニ幾多ノ是ハ緩和點ガアルカラ認

メナインデ、又此個人ト法人ト區別シテ考

ヘルト云フコトハ、普通ノ所得稅ノ場合ニ

ヘルト云フヤウナ、是ハ人絹會社ノ場合バカリデ

ヲタント有タナイ總テノ會社ニ對シテハ

非常ニ不公平ナル所ノ、其負擔能力ノ關係ニ

ヲタント有タナイ總テノ會社ニ對シテハ

非常ニ不公平ナル所ノ、其負擔能力ノ關係ニ

ガ起ルノミナラズ、昭和五年或ハ其前後カ

ラ出來タ所ノ日本中ノ總テノ會社、積立金

ヲタント有タナイ總テノ會社ニ對シテハ

非常ニ不公平ナル所ノ、其負擔能力ノ關係ニ

ガ起ルノミナラズ、昭和五年或ハ其前後カ

ラ出來タ所ノ日本中ノ總テノ會社、積立金

計算ハ、積立金ト拂込資本金ヲ合算シタルモノニ對スル收益率ヲ認メル、之ニ反シ

マシテ拂込資本金ダケノ太體利廻ヲ見ルナ

ラバ、勸業銀行ノ調査ニ依ッテモ昭和六年ハ

六分六厘、全國總テノ會社、昭和六年ノ非

常ナ不況時ト雖モ六分六厘ノ利廻ガアル、

此處ニ勸業銀行ノ調査書ガアル、六分六厘

ナンド、大藏省ハ都合ノ好イヤウニ其時ノ

基础ナンダ、詰リ昭和五年ト六年ニ四分カ

ナンド、大藏省ハ都合ノ好イヤウニ其時ノ

云フケレドモ、勸業銀行ノ調査ハ明カニ昭和六年ニハ六分六厘トナル、ソレ故ニ昭和五年以後ニ出來タ所ノ全部ノ會社ハ七分ヲ控除サレテモ、大藏省ガ常ニ言フガ如キ何等ノ恩恵ヲ受ケテ居ラヌト云フコトハ明瞭ダ、何等ノ恩恵ヲ受ケザルノミナラズ、新シイ會社ハ積立金ヲ有タザルガ故ニ、モウ其昭和五年ノヤウナ非常ニ不況ノ時デサヘモ、全國平均六分六厘ノ大體利廻ニナッテ居ツタニモ拘ラズ、控除額ハ僅ニ七分デアルガ故ニ、茲ニ古イ會社ハ悉ク恩恵ヲ受ケ、新シイ而モ此非常時ノ以後ニ起ツタル所ノ總テノ會社ハ、非常ナル不公平ナル苛斂誅求ニ陥ルト云フ結果ハ此處カラ來ル、ソレダカラ私ハ矢張會社ハ經營ヲ可能ナラシメル爲ニ、會社ノ存立ヲ危フカラシメザル爲ニハ、社會通念ノ認メタル所ノ配當ヲドウシテモ許シテヤルト云フコトデナケレバ、言葉ヲ換ヘレバ七分ト云フ控除額ヲモウ少し上ゲテヤラヌ限リハ、新設ノ會社ハ是ハ全部、人絹會社ト云ハズ、非常ニ經營難ニ陥ル處アリ、斯ウ斷定セザルヲ得ナイノデアリマスルガ、之ニ對シテ大藏當局ハドウ見ラレテ居リマスルカ

ノ七ヲ尙ホモウ少シ引上ゲルノ必要ガアル
デハナイカ、斯ウ云フ御尋カト思フノデア
リマスルガ、是ハ六分ガ宜イカ、七分ガ宜
イカ、議論ハアリマスガ、兎ニ角斯ウ云フ
點ニ付キマシテ、吾々ノ方ト致シマシテモ、
十分ニ考究致シタノデアリマスガ、先程モ
御説明致シマシタ通り、先ヅ昭和五、六年
ノ利廻ニ對シテ此位ノ餘裕ガアッタナラバ、
酷デハナカラウト思ツテ此七分ト致シタノ
デアリマス、此七分ニ依リマシテ、是ハ先
程モ御話ノアリマンシタ通り、積立金ヲ含ン
デ居リマス、即チ其會社ノ運轉致シテ居リ
マス資本金ニ對シテ、幾ラノ利廻デアルカ
ト云フコトヲ標準ニ致シタノデアリマスカ
ラ、七分ノ利廻ニ於テ、大體其當時ノアノ
不況時ニ於キマシテモ、六分六厘ノ利益ヲ
擧ゲ得ル狀態デアッタノデアリマスカラ、此
七分ト云フモノハ低キニ失スルトハ思ハヌ
ノデアリマス、可ナリノ餘裕ガアルコト、思
フノデアリマス、ソレカラ新設會社ニ對シ
テ酷デハアルマイカ、斯ウ云フ御話デアリ
マスガ、昭和五、六年ニ於キマス實績ノア
リマスモノハ、是ハ其當時ノ實績ニ對シマ
シテ、今日課稅致スノデアリマスカラ、其
實績トノ差額ガ七分以上デアリマスレバ

社ニ於キマシテハ、積立金ハ全然無イ、昭和七年以降ノ會社ニ付テハ積立金ハ全然持ッテ居ラヌノダカラ、酷デハアルマイカ、斯ウ云フ御尋カト思フノデアリマス、是ハ新設ノ會社ニ付キマシテモ、色々研究ハ致シテ見タノデアリマスガ、創立勿々、二三年ノ會社ト致シマシテハ、先ヅ此邊ノ利廻ヲ見テ行キマスレバ、大體サウ酷ニ當ルコトハナカラウ、斯ウ考ヘマシタ次第デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○松村委員 説明ヲ聽ク程段々徹底シナイ、ソレハ何故カト云フト、此臨時税ハ屢々言ハレルガ如ク、非常時局ニ依ッテ儲ケタ所ノ特殊ナル人ニ課スルト云フノデス、軍需景氣或ハ貿易景氣ノ目標トスルト言フ、所ガ實際ハ貿易ニモ依ラザル、軍需景氣ニモ依ラザル、昭和五年以降ニ糙ヘラレタ所ノ新シイ會社ハ全部此法ニ依ッテ苛斂誅求ヲ受ケル、會社ト云フモノハ非常景氣ニ依ッテノミ生レルモノデハアリマセヌ、色々ナ必要ニ依ッテ生レル所ノ會社、中ニハ隨分苦シイ會社モアルガ、此會社ガ芽ヲ吹キ力ケントスル時ニ、新設會社ナルガ故ニ、而モ非常時景氣ト云フ假面ノ下ニ千篇一律ニ稅ヲ課ケルト云フ——總テノ新設會社、昨年ハ五億何千萬圓、一昨年ハ六億何千萬圓、

此數年間ニ起^タ計何十億カノ新シイ會社ガ、此稅ノ爲ニ基礎固マラサルニ苛斂誅求ヲ受ケル、サウ云フヤウナコトデ一般ニ惡影響ヲ受ケルト云フコトハ何カラ起ルカ、要スルニ此稅ノ本體ガ七分ト云フコトノ引方ガ少イト云フ所ニ歸スル、其點ニ關シテ色々強辯サレルガ、私ハドウシテモ新シイ會社ト云フモノハ、種々ナ國家ノ必要ニ依^テ起^タテ來ル會社ガアルノダガ、之ヲ非常時ナド、云フ杓子定規ノ机上論デ、千篇一律ニ課稅ヲスルト云フコトハ是ハ日本ノ產業ヲ保護スル經路カラ餘程考ヘナケレバナラヌ大問題デアルト思フノデアルガ、七分位ヲヤッタラ宜カラウト言フガ、ソレハ會社經營ヲ知ラザル無識ノ結果デアル、無識ト言ヘバ苛酷カモ知レヌガ、會社ヲ經營スルニハ七分デハ駄目ダ、新シイ會社ヲ六分ヤ七分デハ誰モ株ヲ持ツ者ハナイ、六分ノ配當ヲスルノニハ少クトモ積立金ヲ或爾程度見ルカラ、八分ヤ九分ノ利益ガナケレバ會社ハ起シテモ誰モ投資シナイ、然ルニモ拘ラズ斯ノ如キコトヲヤルト云フコトハ、日本ノ產業政策ニ於テ、而モ大藏省ノ言フ所デハ僅ニ三千萬圓、實際ハソレヨリモ多イカモ知レヌガ、三千萬圓ノ稅ノ爲ニ日本ガ昭和五年以降、又今日ヨリ未來永劫

此稅ノ存スル限リ起ル所ノ新シイ會社ニ向テ苛斂誅求ヲスルト云フコトハ、否定スベカラザル事實ニアリマセウ、私ハ斯ノ如キ稅ニ依テ新興日本ノ產業方阻碍サレルト云フヤウナコトヲ惧レル、七分ナラ宜イデヤナイカト大藏省ガ漫然言ハレルナラバ、日本ノ產業ノ實體ヲ識ラザル所カラ來ル議論デアリマシテ、慨嘆ニ堪ヘナイ、是レ以上議論ヲ聞ハシテモ無益デアルガ、私ハ斯ノ如キコトニ依テハ日本ノ產業ハ興ラナイ、興リツ、アル產業ノ芽ヲ摘ムト云フコトハ議論ノ餘地ガナイ、是レ以上議論ヲ闘ハシテモ無益デアリマスガ故ニ、私ハ此問題ニ關スル限リ質問ハ打切ッテ置キマス

○石渡政府委員 一言言ハシテ戴キタイト思ヒマスガ、新設會社ニ甚ダ酷ニ當ル、昭和五年以降數十億ノ資本方苛斂誅求ヲ受ケル、斯ウ仰シヤルノデアリマスガ、是ハ昭和七年以降ノ新設會社ニ對シテ此規定ヲ用ヒル、斯ウ申上ゲテ居ルノデゴザイマス、サウシテ既設會社ガ新資本トシテ増加致シマシタモノニ付テハ、ソレハ既設會社ノ利廻デ行ク、斯ウ云フコトデゴザイマスノデ、茲ニ酷デアルマイト申上ゲテ置キマス

○松村委員 ドウモはレ以上議論シテモ全ク見解ノ相違ナシデス、日本ノヤウナ新興

コニ、三年、短イ期間デゴザイマスカラ、ソレガ七分ノ利廻以上ニ當リマシタルモノデゴザイマスレバ、是ハ課稅ヲ致シテモ、其七分ヲ超過スル額ノ一部ヲ課稅致シマシテモ宜イノデハナカラウカ、斯ウ考ヘルノデアリマス、ソレカラ其利廻ノ歩ガ低イト云フコトガ新設會社ニ對シテ非常ニ酷デアッテ、既設會社ニ利益ヲ與ヘルノデアルカラ、モウ少シ高クシタードウダト云フヤウナ、御意見カト思フノデゴザイマスガ、是ハシテハ二割配當致シマシテモ、一割配當致シテハ二割配當致シマシテモ、一割配當致シマシテモ、場合ニ依テハ課稅ヲ受ケナイシテハシタードウダト呼フ者アリ)

——(「ソレダカラ不都合ダ」と呼フ者アリ)ソレデスカラ其率ヲ上ゲルト云フコトニ相成リマスト、内容ノ充實致シマシタ會社ガ課稅カラ免レル虞ガゴザイマス、隨ヒマンテ此七分ノ標準率ト云フモノハ低過ギルト云フコトハ思ヒマセヌ(「新會社ハドウダ」ト呼フ者アリ)新會社ト云フ御話モゴザイマスガ、寧ロ内容ノ充實致シテ居リマス會社ハモット取ッテ宜シイ、十分取り給へ、コソナ取方デハイカヌ、徹底的ニ增稅ヲ斷行スルモ仕方ガナイ、ソレハ現行ノ所得稅法ヲ改正シテモヤレル、内容ノ充實シタル會社ニ向テ、現行所得稅ノ超過所得ノ率ヲ上ゲルナリ、モット徹底的ニ上ゲルコトガ合

設會社ヲ犠牲ニシテ、内容充實シタル會社ヲ取ラヌヤウニスルカラ、帶ニ短シ禪ニ長シ、首鼠兩端、結局二兎ヲ追テ一兎ヲ得ズト云フ結論ニナル、是ガ根本的ナ利得稅ノ缺陷ダト云フコトガ、アナタノ説明ニ依テハッキリシタノデアル、私ハドウシテモ所得稅ノ根本改正コソ必要デアッテ、斯様ナ姑息ナ彌縫的ナ、不徹底ナ臨時利得稅ニ依テハ、產業ガ疲弊コソスレ、何等ノ效果ハナイ、大藏當局ハモウ少シ產業ニ關スル實體ヲ擱ンデヤラナケレバイカヌ、ソコニ理解ガナイカラ斯ウ云フ結論ニナル、實ニ此稅ハ聽ケバ聽ク程非常ナル缺陷ヲ暴露スルモノト断ゼザルヲ得ナイノデアリマス

○石渡政府委員 一言御答致シマス、是ハ資本金積立金ヲ押ヘマスト云フ所ヨリ生ジテ參リマスル、一つノ難カシイ問題ダト思フノデゴザイマス、私ハ決シテ松村サント議論致ス譯デハゴザイマセヌガ、一應御諒解願ッテ置キタイトノデゴザイマス、是ハアナタノ仰シヤルヤウナ超過所得稅ヲ課ケルニ致シマシテモ、其結果ハ同ジデゴザイマスノデ、斯ウ云フヤウナ問題ニ付キマシテ、積立金ヲ入レルカ入レナイカト云フ問題ガツアルノデゴザイマスガ、併シ積立金ヲ入レテ計算致サナケレバ、ソコニ又色々ノ弊

害ガ出テ参リマスノデ、拂込濟資本又積立金ノ合計額ニ依ッテ、或ル一定ノ利廻ヲ見テ行クト云フコトニ致シマスレバ、斯ノ如キ結果ノ生ズルコトハ已ムヲ得ナイ次第ア

ルトスウ信ジテ居リマス次第ゴザイマス○松村委員 是レ以上申上ゲマセヌガ、積立金ノ問題ハ末節ノ問題ダト先刻カラ言

テ居ル、積立金ノ問題ヲ考慮スルカシナイカト云フコトハ、結局七分ヲ上ゲルカ上ゲ

ナイカト云フコトノ根本ノ觀念ニナッテ來ル、ダカラ是レ以上議論ヲ進メテモ全ク無

駄ダ、大藏當局ハ產業ノ實體ニ關シテ、モ

ウ少シ御研究ノ上デ課稅サレンコトヲ切ニ希望シテ此質問ハ此程度デ止メテ置キマス○森田委員 一寸關聯シテ大藏省ノ當局ニ

…石渡サンデ結構デアリマスガ、斯ウ云フコトヲ御尋シテ見タイ、松村君ガ今朝程カラ御尋サレテ御答ニナッテ居ルコトヲ聽

…一千萬圓、來年度度四千萬圓デアル、ソレ以上ニハ豫算デアルケレドモ：

豫算ハ、即チ實收ノ豫算ハ歲出ニ見返テ歲入ヲ作ッテ居ルノデスカラ、其歲入ニ三千萬圓、四千萬圓アレバ宜イノカ、詰リ吾々ノ見ル所デハドウシテモ六七千萬圓アリハシナイカト云フヤウニ思フガ、サウデナイ、シテ宜シイノデアリマスカ

○石渡政府委員 森田、サンニ御答致シマス、今朝御答致シマシタ點ハ、本稅ハ何處

ナレバ、ソレデ満足デアル、斯ウ吾々ハ解シテ宜シイノデアリマスカ

デ三千萬圓、來年度度四千萬圓入ルヤウニナレバ、ソレデ満足デアル、斯ウ吾々ハ解

シテ宜シイノデアリマスカ

○石渡政府委員 森田、サンニ御答致シマス、今朝御答致シマシタ點ハ、本稅ハ何處

ナレバ、ソレデ満足デアル、斯ウ吾々ハ解シテ宜シイノデアリマスカ

マデモ豫算デアリマスノデ、絶對ニ是ダケ

ノ金以上ハ入ラヌ、又必ズ是レ以下ノ金ハ入ラヌト云フコトハ申上ゲ兼ネル、唯本稅ヲ見積ルニ當リマシテ、大藏當局ト致シマス

シテハ、決シテ過大ニ見積ラウトスルヤウナ考、過小ニ見積ラウト云フヤウナ考デ致シテ見積タモノデハアリマセヌ、事務的ニ

見積タモノデアルトスウ云フコトヲ—

事務的ニ見積テ過大ニアラズ過小ニアラズト云フ觀念ヲ以て編成シタモノデアルト

云フコトヲ、申上ゲマシタ次第ゴザイマス

云フコトヲ、申上ゲマシタ次第ゴザイマス

シタ次第ゴザイマス

○森田委員 ソレデアルカラ、アナタノ仰

シヤル豫算デアルカラ、豫算トシテ本年度ニ三千萬圓、來年度度以降ガ年額四千萬圓デ

アル、ソレ以上ニハ豫算デアルケレドモ：

豫算ハ、即チ實收ノ豫算ハ歲出ニ見返テ

歲入ヲ作ッテ居ルノデスカラ、其歲入ニ三千萬圓、四千萬圓アレバ宜イノカ、詰リ吾々

ノ見ル所デハドウシテモ六七千萬圓アリハシナイカト云フヤウニ思フガ、サウデナイ、シテ宜シイノデアリマスカ

ト思ヒマス(笑聲)アナタノ方ハ三千萬圓、シツ、アルヤ否ヤ、又認識シテ策ヲ立テン

トスル考デアルカラト云フコトヲ伺ヒ

マデモ其信念デ居ラル、コトニ間違ナイ

カト云フコトヲ問ウタノデアリマスカラ、ソレニ間違サヘナケレバ宜シイノデアリマス

シテハ、決シテ過大ニ見積ラウトスルヤウナ考、過小ニ見積ラウト云フヤウナ考デ致シテ見積タモノデハアリマセヌ、事務的ニ

見積タモノデアルトスウ云フコトヲ—

事務的ニ見積テ過大ニアラズ過小ニアラズト云フ觀念ヲ以て編成シタモノデアルト

云フコトヲ、申上ゲマシタ次第ゴザイマス

シタ次第ゴザイマス

○森田委員 一昨日來ノ質疑應答ニ依リマ

シテ、此稅ノ主體デアル所謂非常時景氣、

貿易景氣、軍需景氣、政府自ラ跛行的ト稱

シテ、此稅ノ主體デアル所謂非常時景氣、

貿易景氣、軍需景氣、政府自ラ跛行的ト稱

一般大衆ノ、殊ニ農民勞働者ニハ非常ナ被

害ヲ與ヘタト云フコトヲ、或ル程度ニ明ニ

シタノデアリマスガ、此處ニ農林大臣ニ伺

フノハ、農村ノ根本對策ハ斯ノ如キ現狀ヲ

ハッキリ認識シテ立テネバナラヌト思フノ

○山崎國務大臣 一昨日松村君カラ非常ナ御専門ニ互ツテノ御質問ガアリマシテ、松村君ハ爲替ノ低落ニ依ッテ或ル方面ハ非常ナ利得ヲ得テ居ルガ、農村ハ被害者ノ立場ニアルト、斯ウ云フヤウナ御結論ヲ御有チニナ

テ居ルヤウデアリマスガ、其點ハ被害者ト云フヤウナ風ニ御考ニナルコトハ、私共ハ、少シドウモ御無禮デアリマスガ、行過ギタ

御考ヘ方デハアルマイカ、斯ウ云フ風ニ實ハ考ヘテ居ル者デアリマス、尤モ軍需工業ヘタモノデアリマス、斯ウ申上ゲテ置キマ

税金ガ幾ラ入ルノデアルカ、斯ウ云フ見積ヲ致シタノデゴザイマス、其結果ガ三千萬圓、四千萬圓トスウ相成タノデアリマシテ、豫算ノ數字カラ言ヒマスレバ左様ニ排

雲フコトヲ、申上ゲマシタ次第ゴザイマス

シタ次第ゴザイマス

○松村委員 一昨日來ノ質疑應答ニ依リマ

シテ、此稅ノ主體デアル所謂非常時景氣、

貿易景氣、軍需景氣、政府自ラ跛行的ト稱

シテ、此稅ノ主體デアル所謂非常時景氣、

貿易景氣、軍需景氣、政府自ラ跛行的ト稱

一般大衆ノ、殊ニ農民勞働者ニハ非常ナ被

害ヲ與ヘタト云フコトヲ、或ル程度ニ明ニ

シタノデアリマスガ、此處ニ農林大臣ニ伺

フノハ、農村ノ根本對策ハ斯ノ如キ現狀ヲ

ハッキリ認識シテ立テネバナラヌト思フノ

ハ極メテ知識ノ無イ者デアリマシテ、細カ
イ議論ハ困難デアリマスケレドモ、概括ス
レバドウモサウデヤナイカト私ハ思ヒマ
ス、隨テ將來ノ農村ニ對スル恆久策ヲ立ツ
ルト云フ上ニ於テハ、農村ガ困厄シテ居ル
現狀ヲ認識シ、之ニ出發シテ農村ノ復興ト
申シマスカ、繁榮ト言ヒマスカ、サウ云フ
リノ努力ヲセナケレバナラヌ、斯ウ云フ御
意見デアレバ、ソレハ全ク御同感デアル譯
デアリマス

○松村委員 私ハ半面ニ於テ農林大臣ガ率
直ニ農村ノ困爾現狀ヲ告白サレタコトニ對
シマシテハ、衷心カラ贊意ヲ表スル者デア
リマス、餘事ニナリマスルガ、大藏大臣ハ
遺憾ナガラ屢々ノ機會ニ於テ、現ニ一昨日モ
農村ハ數年前ヨリモ非常ニ好クナッテ居ル
ナド、實ニ恐入タル御意見ヲ吐イテ居ラ
レマスルガ、私ハ困ッタコトハ、此高橋サン
ノ農村ニ對スル認識ノ缺除デアルト思ッテ
居ッタノデアリマスルガ、農林大臣ハ正直
ニ農家ノ困ル現狀ヲ御話ニナッタ、私ハ今農
林大臣カラ左様ナ御答ガナケレバ、農林省
ノデアリマスルガ、農林大臣ガ率直ニ農家
カラ提出サレマシタル所ノ過去數年ニ瓦ル

ノ困ルコトヲハッキリト、高橋サント全ク達ツテ認識サレタト云フコトニナリマシタ
以上ハ、此上はハ伺ヒマセヌガ、此點ハ此處
デ押問答ラスルヨリモ、農村ノ困ツテ居ル
現狀ト云フモノヲ、現内閣ノ諸公、殊ニ大藏
大臣ニ認識サセテ戴ク、又是ガ私ハ農林大
臣ノ一番肝要ナル職務デアル、肝腎ノ大藏
大臣ガ數年前ヨリモ好クナツテ居ルナド、
マルデ數字ヲ無視シタ結論ヲ有ツテ居ラレ
ルナラバ、其場々々ノ便宜的御答辯ナラバ
イザ知ラズ、私ハ此點ニ付テハ切ニ農村ノ
救濟ニ對シテ、高橋サン教育ヲ先ヅヤラレ
ンコトヲ切望致シテ置キマス、其點ハ洵ニ
贊意ヲ表シマスルガ、併シ私ノ根本ノ議論
ヲ稍々否定サレテ居ルヤウニ思フ、私ハ繰
返シテハ申シマセヌガ、是ハ私一己ノ議論
ニアラズシテ、社會ガ總テ之ヲ唱ヘテ居ル
議論デアツテ、殊ニ商工省ハ茲ニ公ニ私ト同
ジ意見ヲ吐イテ居ラレル、今日モ冒頭ニ於
テ、此非常時景氣、軍需景氣ヲ、ハッキリ國民
的全般的犠牲ト云フ言葉ヲ——私ノ使ツテ
居ル言葉ヲ使ツテ居ル、消費大衆ハ犠牲デア
ルト云フコトヲ言ウテ居ラレルノデアルカ
ラ、農林大臣モ此農村ノ現狀ニ對シテ、根
本のノ恆久策ヲ講ゼラレルニ當リマシテ
ハ、唯困ツテ居ル困ツテ居ルト云フヤウナ慈

善事業的ノ考デハ、農村ノ根本策ハ立チマ
セヌ、困ツテ來ル所ノ根本、ドウシテ農村ハ
困ルカト云フコトノ根本觀念ヲハッキリ擱
マナイ限リハ、對策々々ト言フガ、恵久對策
トハ何ゾヤ、困ツテ來ル所ノ原因ヲ究メテ、
之ガ合理的ノ根本策ヲ講ジナケレバナラヌ
ト思フノデアリマスガ、是レ以上繰返シテモ
農林大臣ハ直チニ御贊成ハ致シ兼ネルト考
ヘマスガ、ドウカ根本對策、恵久對策ヲ考ヘ
ル場合ニ於キマシテハ、是非是ハ斯ノ如ク
農村ノ困ヅテ居ル現狀ノ根本原因ヲ確メテ
戴キタイ、是ガナケレバ色々々ノ事ヲ細カク
議論シテモ無意味ト私ハ考ヘマス、所デ今
ヲ掘マレンコトヲ御願ヲ致シマス、所デ今
日此農村救濟ノ根本對策ハ、或ル程度マデ
出來テ居ルノデスカ、又出來掛ツテ居ルノデ
スカ、又出來掛ツテ居ラヌナラバ、近キ將來
ニ於テ何カ國策審議會トカ何ヤラニ於テ、
ハッキリ之ヲサレル御考デアリマスカ

臣ガ日本ノ農村ノ爲ニ非常ニ眞面目ニ御配慮ニナツテ居ルト云フ事實ハ、是ハ私ハ親シク大藏大臣ニ——何モ是ハ公ノ資格ニ於テデモ何デモアリマセヌガ、時々教ヲ蒙ツテ居ルヤウナコトデアリマシテ、非常ニ私共ハ大藏大臣ノ農村ニ對スル御意見ニ傾聽スベキ事ガ多イ、斯ウ云フ感ジヲ常ニ有ツテ居ル者デアリマスカラ、是ハ御言葉ヲ返スヤウニナリマスケレドモ、松村君トシテハ其邊ハ一ツ御諒承ヲ願ツテ置クコトガ宜シカラウト思ヒマス

ト云フ風ニ取扱フベキ問題トハ考ヘマセ
ヌ、更ニ大所高所カラ農村ニ付テハ考フベ
キモノデアラウ、斯ウ云フ風ニ思ッテ居ル
譯デアリマスガ、其點ニ付キマシテハ種々
私共モ及バズナガラ考究モ致シテ居リマス
シ、ヤリタク考ヘテ居ル事モ多々アルノデ
アリマス、遺憾乍ラ十年度ニ於テ恒久的對
策ト云フモノニ十分ノ力ヲ注グコトノ出來
ナカツタコトハ、甚ダ殘念ニ考ヘテ居リマス
ケレドモ、此問題ハ御同様——御同様ト
申上ゲル方ガ宜カラウト思ヒマスガ、御
同様真劍味ヲ以テ掛ッテ行カナケレバナラ
ヌ問題デアッテ、唯一農林省ノ力デドウトカ
スウトカ云フコトデナク、或ル場合ニ於テ
ニ此機關ガ成立致シマシタナラバ、ドンナ
事ガアッテモ私ハ農村對策ト云フモノハ、先
以テ其機關ニ於テ着手スベキモノデアル、
斯ウ云フ實ハ堅キ主張ヲ有、テ居ルト云フ
コトダケヲ御答申上ゲテ置キマス

○松村委員 私ハ農林大臣ト同ジク農村問
題ヲ御五ニ真劍味ヲ以テ掛ルト云フコト
ハ、私モ微力ナガラ其點ニ付キマシテハ可
ナリ真劍味ヲ以テ、自ラ草鞋ヲ穿イテ農村
ヲ歩イテ實情ヲ視テ居ルヤウナコトデアリ
マスガ、今農林大臣ノ御答ノ中ニモット根本
ガ生出デルコトガ必要デアル、現ニ私共個
人トシテ内閣審議會ノ必要ナルコトヲ早ク
カラ實ハ言ッテ居タモノデアリマスガ、其
趣意モ全ク私ハ内政問題トシテハ、何トシ

テモ此農村對策ト云フモノガ中心問題デア
ル、是ハ是マデノヤウニ唯各省ガ分立シテ
張内閣ニ強力ナル一ツノ機關ガ出來テ、其
下ニ於テ天下ノ各方面ノ輿論ヲ一ツ揃エ合
シテ、サウシテ今迄ヨリモ少シ變ッタ大キナ
政策ガ出來ルコトガ、必要デハアルマイカ
ト云フ意味カラ、内閣審議會ノ必要ヲ、私
共ハ個人トシテ力説ヲ致シテ居ツタヤウナ
コトデアリマスノデ、幸ニ内閣審議會ノ豫
算ニ御協賛ヲ願フコトガ出來マシテ、無事
ニ此機關ガ成立致シマシタナラバ、ドンナ
事ガアッテモ私ハ農村對策ト云フモノハ、先
相場トハ申シマセヌ、是ハドウカ農林大臣
ム、ハッキリ擱ムトハ何ゾヤ、私ハ敢テ爲替
ナケレバナラヌ、遠因茲ニ近因ヲハッキリ擱
何處ニアルカト云フコトヲ、又擱ンデ行カ
ム、ハッキリ擱ムトハ何ゾヤ、私ハ敢テ爲替
ナケレバナラヌ、是ハドウカ農林大臣
ノハソンナ小サイ考、狹量ナコトハ今マデ
ガ爲替々々ト爲替ニ持ッテ行カナイヤウニ、
私ハソントハ、是ハドウカ農林大臣
ノハ爲替バカリデハゴザイマセヌ、此非常
時景氣ト云フモノ、半面ニ持來サレタル所
ノ此爲替——他ノ原因モアルガ、是ガ最モ
根本的ノ近因デハナイカ、此近因ヲ擱マズ
ニ、大キイ、或ハ又深イナドト云フ、遠キ
原因ノミヲ論ジテ居ツテハ、私ハ農村對策ハ
立タナインデヤナイカ、斯ウ云フ趣旨デア
リマスガ、先ヅ此趣旨ニ付テ二言伺ッテ置キ
マス

○山崎國務大臣 松村君ノ御意見ハ一昨日
來度々伺ッテ居ルコトデアリマシテ、御意見

見ルベキ復活ヲ來シテ居ルコトハ、此近因

ニ對スル適切ナル對策ヲ講ジタ爲メハナ

イカ、又農業國デアル所ノ亞爾然丁、加奈

陀、濱洲、新西蘭、羅馬尼、是等ノ國ノ近

時著シク顯著ナル驚クベキ貿易ノ激増ハ何

ヲ物語ルカ、是等ノ農業國ハ長イ間世界的ノ

農業不況ニ沈ンデ居タガ、昨年來は等ノ農

業國ガ皆頭ヲ揃ヘテ顯著ナル貿易ノ振興ヲ

シタノハ、一體何ヲ物語ルカト云フナラバ、

是等ノ國ニ於テハ皆亞米利加ト同ジヤウナ

趣旨ニ於テ、此近キ原因——近因ヲ摘ンデ、

直チニ農作物引上ノ對策ヲ徹底的ニ攻究シ

タ結果斯ノ如キコトニナッタ、他山ノ石以テ

磨クベシ、私ハ日本デモ此近因ヲ摘マズニ、

唯深イ、大キイナド、抽象的ノコトヲ言ウ

テ居タナラバ、國策審議會ガ出來テモ、果

シテ農村對策ガ出來ルカドウカト云フコト

ヲ心配シテ居ル、私ハ爲替ノミトハ言ハナイ

ガ、此近因——近キ原因ヲモットハッキリ摘

ンデ願ヒタイト云フノガ此趣旨デアリマス、

私ハ此趣旨ニ於テ——農村ガ被害者ダト云

フ言葉ヲ農林大臣ハ頻ニ御氣ニシテ居ラレ

ルガ、確ニ被害者デアル、此被害ノ近因ヲ

確メラレテ、斯様ナ眼點カラ、或ハ之ニ類

スルヤウナ論點カラ、農村對策ヲ講ゼラレ

ル必要ヲ御感ジニナッテ居ラレルカドウカ

ヲ伺フノニアリマス

○山崎國務大臣 農村對策ヲ考ヘマス場合

ニ、原因ハ遠近ヲ問ハズ、有ユルコトヲ考

フベキコトハ當然デアリマス、併ナガラ松

村君ノ爲替或ハ軍需景氣、斯ウ云フモノト

農村トノ關係ニ付テノ御議論ハ、是ハ御議

論トシテ伺ツテ置クノ外アリマセヌ、私ノ考

方トハ相當ノ距離ガアルヤウニ、私ハ實ハ

考ヘル譯デアリマシテ、此處デ議論ヲ致スコ

トハ御遠慮申上ゲル方ガ宜カラウト思ヒマ

スノデ、御意見ハ御意見トシテ承ツテ置ク、

斯ウ申上ゲルヨリ外アリマセヌカラ、ドウ

ゾ左様御承知ヲ願ヒマス

○松村委員 重ネテ御尋シマシテモ同ジ議論ヲ繰返スコトニナリマスガ、私ガ農林大臣又農林當局ニ切ニ願フコトハ、各國ガ此

平價ノ切下、或ハ爲替ノ變動ニ依ツテ起ツタ

所ノ農村問題ニ對シテ、其適切ナル原因ヲ

擷ンデ、是ガ救濟ヲ講ジテ居ルト云フヤウ

ナ實情ヲ摘マネバ、唯日本ノ農村ガ困ル困

ルト言フ、今日言ツテ居ルヤウナコトデハ私

ハ農村對策ハ根本的ニ立タナイト思フ、繰

返シテ言フ、敢テ爲替トハ申シマセヌガ、

矢張時局、殊ニ日本ノ金再禁止後ノ此通貨

ヲ得ザル所ノ非常ニ對策デアル、併シ其結

念ヲ摘マズニハ、農村對策ハ絶對ニ不可能

デアリマス、若シ此通貨物價ノ購買力ト云

フヤウナ考ヲ考慮ニ入レズシテ、農村對策

ヲヤルナラバ、國策審議會ニハ何ニモ意味

ガナイ、貨幣トハ申シマセヌガ、通貨ノ變

動ニ依ル貨幣ノ購買力ト云フモノヲ根本觀

念ニ置イテ、農村對策ヲ講ゼラレルカドウ

カト云フコトニ付テ、諄イヤウデアリマス

ガモウ一遍伺ヒマス

○山崎國務大臣 經濟上ノ問題ヲ考ヘマス

場合ニ、通貨其他ノ關係ト云フコトガ、非

常ナ重要ナ關係ヲ有、テ居ルコトハ、私ガ申

ス迄モナイコトデアリマス、其點ハ無論考

ヘナケレバナリマセヌ、唯餘リ申上ゲルト、

折角ノ松村君ノ御議論ヲ反駁スルヤウデ相

思ヒマスケレドモ、繰返シテ申シマス、ド

イ棚カラ寄セ集メタヤウナ策シカ立タヌト

思フ、私ハ此考ヲ根本ニ置カナケレバナラ

ヌト思フガ、是レ以上議論ヲシテモ無駄ト

思ヒマスケレドモ、繰返シテ申シマス、ド

ウカ農林當局及農林大臣ハ、此間ノ消息ヲ

モウ少シ經濟ノ實體ニ付テ御調查、御研究

ヲナサレタ上デ、農村對策ヲ御立テニナラ

ンコトヲ切ニ御願申上ゲマス、私ハ農林大

臣ト購買力ニ對シマス根本的ノ考ガ違フヤ

ウデアルガ、其考ガ根本的ニ違フ以上ハ、

推論モ自ラ違フノデアッテ、總テノ議題ガ違

フ結論ニナッテ來ル、併シ兎ニ角今ノヤウナ

趣旨ニ於テ私ハ此農村對策ヲ考ヘテ見ナケ

レバナラヌト思フノデアルガ、唯此農村ノ

根本的ノ救濟策トシテハ、第一ハ農作物ノ

騰貴ト云フカ、引上ト云フカ、語弊ガアル
ガ値上リ、第二ハ之ヲ補フ副業、或ハ農村
電化ノ如キ、農村工業化ノ如キ、副業ノ收
入增加、第三ハ公租公課ノ低減ト云フヤウ
ナモノガ差當リ考ヘラレル根本對策ノ實際
デハナイカト思ハレルガ、此點ニ付キマシ
テ農林大臣ノ御所見ノ一端デモ伺ヘレバ仕
合セデアリマス

○山崎國務大臣 其點ハ只今松村君ノ御述

ナリマシタヤウナ工合ニ私モ考ヘテ居リマス

○松村委員 然ラバ農林省ハ此根本對策ニ

於キマシテハ、米其他ノモノニ對シマシ

テ、此通貨ノ購買力ヲ考ヘ、又物價ノ一般

標準ヲ考ヘテ、當然合理的ト認メラルベキ

米其他ニ對シマス所ノ相當ナル値上リハ必

要デアルト御考ヘニナリマスカドウカ

○山崎國務大臣 昨年ノ議會ニ於キマシテ

衆議院各派御一致ノ強キ御決議モアッタヤ

ウナコトデアリマシテ、米ノ問題ニ付テ色

色苦心ヲ致シテ居リマスコトモ、是モ要ス

ルニ農村ト米價ト云フモノガ、非常ニ重大

ナ關係ヲ有ツテ居ル、隨テ米ノ政策モ只今ノ

制度ノ儘デ放ツテ置イテハイカヌ、ドウシテ

モ之ニ相當ナ改正或ハ補強ト云フカ、其方

法ヲ講ゼネバナラヌト云フ關係デ、近ク米

穀ニ關スル諸法案ヲ提出致サウト思ウテ居

常ナ重大ナ關係ガアル、斯ウ云フ考方カラ
ナモノガ差當リ考ヘラレル根本對策ノ實際
デハナイカト思ハレルガ、此點ニ付キマシ
テ農林大臣ノ御所見ノ一端デモ伺ヘレバ仕
合セデアリマス

○山崎國務大臣 其點ハ只今松村君ノ御述

ナリマシタヤウナ工合ニ私モ考ヘテ居リマス

○松村委員 補強改正ト言葉ハ如何ニモ抽

象的デアリマスガ、私ノ言フノハ、繰返シ

テ申シマスルガ、貨幣ノ購買力其他ノ變動

ヲ基礎トシテ、少クトモ農作物——米ト言

フト語弊ガアリマスカラ、強イテ米一つハ取

リマセヌ、農作物ノ相當ナル値上リ、總收入

ハ申シマセヌガ、單價ノ値上リガ實際ニ總

テノ點カラ合理的デハナイカ、併シ少クト

モ直ニ上ゲルト云フコトハ農林大臣トシテ

ハ御言明出來マセヌガ、斯ノ如キコトヲ根

本觀念ニ置ク必要ハナイカト云フコトニ對

シマシテ、抽象的ナ御答デ結構デアリマス

カラ、之ニ對スル御親切ナ御答ヲ御願致シ

マス

○山崎國務大臣 松村君ノ御質問ノ狙ヒ所

ガ何處ニアルカ一寸判断ニ苦シム譯デアリ

マスガ、米ノ値段ヲ相當ノ價格ニ維持スル

コトガ、農村ニ取ツテ非常ニ大切デアルス

テ、即チ生産者ト消費者ト兩方面ノコトヲ

慮致シテ參ラナケレバナラヌ譯デアリマシ

カ、斯ウ云フ趣旨デアリマス

○山崎國務大臣 米ノ値ガ適當ナル位置ヲ

占メルコトガ大切デアルコトハ全ク同感デ

アリマス、唯同時ニ一般消費者ノ關係モ考

トカト云フヤウナコトデナク、此通貨ノ變

動ヲ基礎トシタル所ノ米ノ單價ノ引上ト云

フヤウナコトニ付テ、徹底的ノ研究考慮ヲ

願ヒタイ、斯ウ云フコトガ第一ノ要點デア

ル譯デアリマシテ、左様ナコトモ農村ト非
常ナ重大ナ關係ガアル、斯ウ云フ考方カラ
コト、信ズル譯デアリマス

○松村委員 大切ダト云フコトハ天下誰デ

モ認メテ居ル所デアル、私ハ農作物ノ値ヲ

上ゲルト云フコトハ合理的デハナイカ、是

ハ通貨變動カラ來ル所ノ當然ノコトデナ

イカ、又昭和五年ノアノ非常ナ不況時ノ際

ニモ、此間モ申上ゲマシタヤウニ三十一圓

六十錢ト云フノガ最高値段デアッタガ、今日

六三十一圓五十錢デ、昭和五六年當時ヨリ

モ十錢モ低イノデアル、昭和五年以後再禁

止ヲヤッテ通貨ノ購買力ハ變ツテ居ルノデア

リマス、斯ウ云フヤウナコトヲ考ヘテ貨幣

ノ購買力ヲ考ヘル時ニ於テハ、是ハ直チニ

御上ガナサイ——上ゲロハ申セマセヌガ、

少クトモ理窟ノ上ニ於テハ、米其他ノ農作

物ハモウ少シ値ガ上ルコトガ當然デハナイ

カ、斯ウ云フ趣旨デアリマス

○松村委員 農林大臣トシテハ其邊ノ程度

デ仕方ガナイコト、思ヒマス、消費者ノ眼

點ヲ無視シテハ物ノ値段ヲ決メ得ナイコト

ハ、極ク一般的ナ經濟原論デアル、其様ナ

コトハ御間スル必要ハナイノダガ、少クト

モ今日ノ狀態カラ見テ、モウ少シ高ク米

ノ値ヲ維持スルコトガ必要デアル、勿論

消費者ニ對スル影響ヲ考ヘルコトモ必要

デアルガ、ソレハ他ノ方法ヲ以テ一般消

費大眾ニ關スル對策ハ立テナケレバナラ

ヌト思フ、私ハ是レ以上申シマセヌガ、

ドウカ斯ウ云フ趣旨デ、單ニ農村ハ困ル

トカト云フヤウナコトデナク、此通貨ノ變

動ヲ基礎トシタル所ノ米ノ單價ノ引上ト云

フヤウナコトニ付テ、徹底的ノ研究考慮ヲ

願ヒタイ、斯ウ云フコトガ第一ノ要點デア

リマス、第二ハ副業ノ問題デスガ、農林省ハ何カ農村工業化ト云フヤウナコトデ、調查費用ヲ取ッテ居ラレルト云フヤウナ話デアルガ、是ハ今日ハ細カク御聽キハセヌガ、ドンナ程度ノ調査ガ出來テ居リマスカ、出來タモノガアツタラ配付ヲ願フ、又此處デ簡單ニ——此間豫算總會デ御答辯ガアツタ云フヤウナコトデアリマスガ、農村工業化副業ト云ッテ今マデヤッタヤウナコトデハナイ、モット徹底シタル農村工業化ニ關シ、ドンナ施設ヲシヨウツルカ、今日マデ如何ナル施設ヲ爲シテ居ルカ、是ハ商工省カラ少シバカリ取ッタ所ノ農村工業ノ關係ト、ドウ云フ關聯ガアルカ、簡単ニ御伺致シマス

○小平政府委員 農村工業ノ獎勵ノ問題ニ付キマシテハ、明年度豫算ニ三十萬圓ヲ計上シテ居リマス、是ハ農村工業ノ實際ノ獎勵ヲスル豫算デアリマス、尙ホ此豫算ノ中ニ色々調査ノ費用モ見テ居ルノデアリマス、尙ホ農村工業ニ關スル指導方針等ニ付キマシテハ、既ニ農林省ニ於キマシテハ、經濟更生中央委員會ニ諮詢致シマシテ、根本方針ヲ定メテ居ル次第デアリマシテ、其諮詢ノ案ニ對シマシテモ色々調査致シマシテ、相當ナ材料ヲ集メテ、農村工業指導方針ノ

根本對策ト言ヒマスカ、サウ云フコトニ付キマシテハ十分ニ調查研究致シテ豫算ヲ計上シテ居ル次第デアリマス
○松村委員 三十萬圓ノ使途ハ、ドンナ風ニ居ラレマスカ、簡單ニ伺ヒマス
○小平政府委員 十年度ノ豫算ニ計上シテ、是カラヤラウト今申上ガタ次第デアリマス

○松村委員 昨年度ハ少シモナイノデスカ
○小平政府委員 從來ニ於キマシテハ、農村副業獎勵費ガ二十萬圓餘アリマシテ、此中デ出來得ル限リ農村工業ニ關スル調査、及ビ農村工業ト申シマスヤウナ大キナモノデハアリマセヌケレドモ、簡單ナ農產物加工等ニ付キマシテハ、出來ル範圍内デ勧メテ居ッタ次第デアリマス
○松村委員 聞ク所ニ依ルト、副業獎勵費ト云フモノヲ、二十萬圓ヲ何カ千圓ヅ、二回ニ分ケテ方々ニバラ撒イタト云フヤウナコトデスガ、ソンナ事實ハアリマスカ

○岡田委員長 面倒デスガ、成ベク細カク御話ニナツタラドウデスカ

○小平政府委員 只今ノ御質問ノ點ハドウ云フ點デアリマスカ

○岡田委員長 内容ヲ話セト云フノデス

○小平政府委員 副業獎勵費ハ、各府縣ノ

副業獎勵ノ爲ニスル事業ニ對スル補助金、更ニ副業獎勵團體ニ對スル補助金、副業獎勵ノ出荷及販賣ノ斡旋ニ對スル補助金等デアリマシテ、十萬圓トカ、サウ云フ繩メテジヤウナ金額デ分ケテ居ル次第ナノデアリマス、内容ニ至ッテハ、細カイ色々ナ品目別ニナリマスケレドモ、各府縣ノ副業獎勵施設ニ補助シテ居ルヤウナ次第デアリマス
○松村委員 細カクナリマスカラ此程度ニシテ置キマスガ、是ハ私ノ伺ッタノハ十萬圓デヤナイ、千圓ヲ一度ニ分ケタト云フヤウナ話ヲ聽イテ居ルガ、各府縣ニ總花的ニ、細カクバラ撒イタノデハ人件費ニナツシマッテ、役人ヲ使フ費用ニシカナラヌカラ、惡イ事デハナイガ、左様ナコトニ依ッテ農村ノ工業化ナドト云フ大キナ問題ヲ解決スルコトハ中々ムヅカシイ、是レ以上議論ハ致カト云フコトヲ農林省ハ考ヘテ居ラナケレバナラナイ、近ク是ハ出來ルト云フ御考デアリマスカ、出來ナイナラバ其間ニドウシヨウト云フ御考デアリマスカ

○山崎國務大臣 其問題ハ寧ロ內務大臣カラ御答申上グベキ筋ダト思ヒマス、併ナガラ農村ノ負擔ニ關スル問題ガ非常ニ大切ナ問題デアルト云フコトハ、私ノ深ク認メテ居ルコトデアリマス、此間豫算總會ニ於テモ御叱リ受ケタヤウナコトデアリマスガ、キナ問題ハ決ルノデアルカラ、ソレハ二十萬圓バカリノチッポケナ金デハ何モ出來マ

地方ニ負擔ノ偏輕偏重ナキヤト云フ調査ヲヤツテ居リマスガ、アノ調査ナドモ、モウ少シ早ク進行スレバ宜イト云フコトヲ私ハ實ハ内部デハ催促ヲシテ居ツタヤウナコトデアリマスケレドモ、マダ旨ク進行シテ居リマセヌ、併シ大分基礎材料ハ揃ヒツ、アルヤウデアリマスカラ、ソレヲ今回ノ審議會ニ持込ンデ、サウシテ其方デ續イテヤツテ行ッタラバ宜カラウト、斯ウ云フ風ニ私ハ考ヘテ居ル譯デアリマス

○松村委員 審議會ハ非常ニ結構デアリマスガ、稅制ノ根本整理モ審議會、農村對策モ審議會デ、審議會ハ殆ド内閣其モノデアルガ如ク、總テ審議會ニ擔き込モウト云フコトデアルガ、私ハ審議會ガ是カラ出來テ、

來年ノ議會マデマダ此内閣方續クトマア讓歩シ假定シテモ、ドウモ審議會審議會ト言フガ、結局ソレハ逃が場所デアッテ——逃が場所ト云フコトハ穩カデナイカ知ラヌガ、要スルニソコハ本當ニ内閣ノ逃が場所デアッテ、結局何モ出來ナイノデハナイカ、ヤハリ農村ハ農林大臣ガハッキリ認メラレルヤウニ困ツテ居ル、此困ツテ居ル農村各方面ニ關スル所ノ施設ニ於テ足リナイト云フコトモ、是ハ度々農林大臣ハ認メラレテ居ル、私ハ色々意見ガアリマスガ、繰返シテ簡單

ニ結論ヲ申シマスルナラバ、此農村ノ困ツテ居ルト云フコトハ是ハ遠キ原因ガアル上ニ近キ原因ガアルノデアル、唯農村ハ困ルカラ救濟シテ吳レト云フ意見ハ私ハ立テマセヌ、由ツテ來ル根本原因ヲ確メナケレバ農村對策ハ立タナイ、ダカラ此根本的ノ對策ヲ立テルマデノ過渡的ノ間ニハ、ドウシテモ農林省ハ適當ナル施設ヲ茲ニ考ヘテ居ラナケレバナラヌ、内閣審議會ト簡単に逃ゲテ居ラレテモ其結果ハ——少シ言葉ハ過ギルカモ知レヌガ、百年河清ヲ待ツト云フ程デモナイカモ知レヌガ、數年研究調查ヲ待ツテモ、其結果ハ知ルベキノミダト云フ處モナキニシモアラズ、幸ニ立派ナル結論ガ立テラエンコトヲ要望致シマスガ、此間ニ於キマシテ農林大臣ハ、一體時局匡救ノ經費ハ打切り、地方財政ノ現狀ハ斯クノ如クデアルガ、農林省内務省ハ、一體ドウ云フ考ヲ以テ——度々是ハ豫算總會デ、私ハ其當時傍鑑致シテ居リマセヌガ、私ハ農林大臣モ確カニ今日ノ程度ヲ以テシテハ不満足デアルト云フコトニ付テハ御異論ノナイコトデアルト思ヒマスルガ、一應簡單ナガラ御所見ヲ伺ヒマス

○山崎國務大臣 其問題ハ主トシテ豫算總會ナリ本會議ニ於テ御論議ニナツタ中心問

題デアリマスノデ、之ヲ又スウ繰返シテ參リマスコトモドウカト思ヒマスガ、大體政府ノ今日考ヘテ居リマスコトハ、松村君モ、モウ御承知ノコトデアリマスカラ、其程度デドウゾ一ツ然ルベク願ヒマス

○松村委員 農林大臣ガ頗ル妥協的ナ御說ヲ出サレタガ、私共ハ承服シナイ、斷ジテ承服シナイ、今日迄ヤツテ居ルコトデハ足リナイト云フコトヲ農林大臣モ認メテ居ラレル、唯財政ノ關係上已ムヲ得ズ此程度デマ

ア我慢ヲシテ吳レト云フコトデアッテ、大藏大臣モ左様ナコトヲ言ウテ居ル、他ノ方面

カラ農村ノ現狀ヲ詳シク言ハレタガ、私ハ只今申シマシタヤウニ非常時景氣、稅ノ目

的タル所ノ此非常時景氣カラ、ドウシテモ犠牲者ハ消費者、殊ニ農村ニ及ンデ居ル、

貨幣價值ノ變動ハ當然然ルベキ筈デアル、

此關係ヲ擱マズニハ、ドウシテモ農村對策ハ立タナイ、ドウカ農林大臣ハ——簡単ニ

希望致シマス、斯ル見地ニ立タレマシテ、國策審議會デ根本策ヲ御樹テ下サルコトモ切

ニ御願ヲ申上ゲルガ、其前ニ差當リ追ツテ居ル所ノ此窮狀ニ對シマシテ、ドウカ十分ナ

モウ研究ナント云フ手綴イコトデハ間ニ合ヒマセヌ、先程申シマシタ通リ御互ニ眞劍

對策ヲ——根本對策、恆久對策ガ立ツ迄ノ間ノ繫ギノ對策ヲ、ドウシテモヤツテ貰ハナケレバナラヌ、此點ニ付キマシテ農林大臣ノ御考ヲ伺フコトハ面倒ト思ヒマスガ、一切ニ希望ヲ申上ゲマシテ、農林大臣ニ對シマスル限リノ私ノ質問ヲ打切ッテ置キマス

○岡田委員長 一寸今聯關質問ヲ許シマス——前田君

○前田委員 此機會ニ於キマシテ農林大臣ニ質問致シマス、御承知ノ如ク時局ノ影響ヲ受ケテ產業ノ一部分ガ極メテ活況ヲ呈シテ居ル、併ナガラ未ダ一般ノ產業ニ及ンデ居ラヌト云フコトハ政府當局モ御承知ノ通

リデアリマス、今之ヲ中小商工業者ニ見マスルニ、中小工業者ノ中ニハ、成程時局ノ影響ヲ受ケテ、多少活況ヲ呈シテ居ルモノモアリマス、又中小商業者ニ付テ見マス

ルモ、労働者ノ購買力ガ殖エテ居ル關係上、多少好クナッテ居ル所モアルノデアリマス、

併ナガラ大體カラ見ルト、中小ノ商工業者ハ依然トシテ不況デアリ、依然トシテ不安

狀態ニ置カレテ居リマス、私共ハ農村ノ窮状ニ對シテハ心カラ同情ヲ致シテ居ル、殊ニ農村ノ中產階級方段々沒落ノ道程ニア

ル、ドウシテモ此悲運ヲ早ク救濟シナケ

レバナラヌ、斯ウ云フコトモ切實ニ感ジテ居リマス、併ナガラ農村ノ救濟ガ必要デアルカラト言ッテ、中小商工業者ノ此不安、此不振ヲバ白眼視シテ居ル譯ニハ參ラヌト思ヒマス、然ラバ中小商工業者ノ不安不振ノ原因ハ一體何處ニアルカ、何ニ原因シテ居ルカ、是ハ色々原因ハ無論アリマス、併ナガラ最モ近キ原因、最モ重大ナル原因ハ、産業組合ガ其本來ノ使命ノ限度ヲ越エテ中小商工業者ノ領域マデ侵シテ來テ居ル、御承知ノ如ク産業組合ハ國家ガ有ユル手段ヲ以テ保護助成ヲヤッテ居ラレル、サウンテ産業組合ハ今日ノ發達ヲ致シテ居リマス、無論其産業組合ハ農村經濟更生ノ爲ニハ必要デアル、農村經濟ヲ更生シマスニハ、ドウシテモ産業組合中心ノ下ニヤルト云フコトガ便宜デアラウトハ考ヘテ居リマス、併ナガラ今日ノ如ク都會ニ於テ、幾多ノ政府カラ保護助成ヲサレテ居ル此産業組合ガ、非常ニ金融難ニ惱ンデ居ル、不振ヲ極メテ居ル、不況ニ陥ッテ居ル中小商工業者ノ領域マデ侵シテ、是ト競争サレテ居リマシテハ、到底此中小商工業者ト云フモノハ立ツテ行カヌト思フノデアリマス、是ガ今日中小商工業者ガ段々没落ノ道程ヲ辿ツテ居ル最モ主ナル原因デアラウト思ヒマス、彼ノ米穀

自管理案ニ致シマシテモ、兩者ガ一致結東シテ反對ヲ致シテ居ル、是ハ矢張リ其主ナル原因ハ産業組合ガ斯ウ云フ方面ニ迄、非常ニ疲弊困憊シテ金融難ニ惱ンデ居ル方面ニマデ競争ヲシテ、領域ヲ侵シテ居ル結果デアルト思ヒマス、隨テ私此場合御尋申上ゲタイト思ヒマスノハ、今日ノ如ク産業組合ガ發達致シテ居ル狀態ニ於キマシテ、彼ノ英吉利トカ獨逸ノ如キハ、御承知ノ如ク殆ド大部分ノ特權ヲ無クシテ居ル、奪ッテ居ル、然ルニ日本ハ依然トシテ非常ナ特權ヲ與ヘテ居ルノデアルガ、マア今日迄發達致シテ居ル産業組合ニ對シテハ、農村ノ方ハ別ト致シテ、都市方面ニ於キマシテノ産業組合ニ對スル特權ノ全部或ハ一部分、之ヲ無クサレマシテ、サウシテ中小商工業者ノ、此不振不況ヲ救濟スル所ノ御意思ガアルカナイカ、斯ウ云フ一つ根本觀念ヲ御尋申上ゲタイト思ヒマス

○山崎國務大臣 只今農林大臣ハ、餘リ感情ガ能ク内容ヲ御研究ヲ願ヒマスレバ、恐ラク御諒解ヲ得ルコト、思フノデアリマスルガ、今回ノ法案ノ内容其モノニ依ツテ、商業機關ニドウスウト云フヤウナコトハ、是ハドウモ私ハ寧ロ杞憂——少シ其聲ガ大キ過ギヤシナイカ、少シ露骨ニ言ヘバ、杞憂ニ屬スルヤウナ點ガ實ハ大變アルヤウニ思テ居ルノデアリマシテ、其邊ハ能ク内容ヲ御檢討願ヒマスレバ御諒解ヲ得ルコト、考ヘマス、唯併ナガラ一般ノ産業組合ノ作用デ、商業者ニ非常ニ刺戟ヲ與ヘルト云フ點御精神カラ御質問ヲ受ケマシタコトモアリマシタガ、産業組合ハ申スマデモナク農村ニ於テ、謂ハム農村ノ經濟的ナ中権機關トモ申スペキモノデアリマシテ、是ガ健全ナ

ル發達ヲ圖ッテ行クト云フコトハ、是ハ私共ハ考ヘテ居ル次第デアリマス、ソコデ隨テ産業組合自體ノ健全ナル發達ハ、是ハ私ハ飽マデ政府トシテモ考ヘテ行カナケレバナラヌ、少シ度ガ過ギルト云フヤウナコトハ是ハ又別ニ考ヘテ行クタラ宜シクハナイカ、デアリマスカラ、産業組合ノ特權ヲ、之ヲ今ドウスル斯ウスルト云フヤウナコトマシタガ、色々ナ議論ガ商業者側ニ叫バレテ居ルコトハ私能ク承知ヲ致シテ居リマス、是ハ一つ法案ヲ提出致シマシタ上デ、ス、是ハ一つ法案ヲ提出致シマシタ上デ、

○前田委員 只今農林大臣ハ、餘リ感情ガ尖銳化シテハ困ル、斯ウ云フヤウナコトデアリマシタガ、私共ハ別段感情ガ尖銳化シテ居ルガ爲ニ中小商工業者ガ困ツテ居ルノデハナイト思ヒマス、實際問題トシテ、國家ガ有ユル保護助成ヲヤッテ居ル、一例ヲ申セバ自轉車稅ノ如キスラ徵收シテ居ラヌ、葱ノ一把カニ一把マデ一々運搬シテ賣ツテ居ル、斯ウ云フコトニナリマスト、一方金融難ニ非常ニ惱ンデ居ル中小商工業者ハ、働カウトシテモ資金ヲ得ラレナイ、是ガ中小商工業者ガ困ツテ居ル最モ主ナーツノ原因ダ、然ルニ一方ハ低利資金ノ供給ヲ受ケテ、其上ニ有ユル保護ヲサレテ居ル、殆ド總テノ稅金ト云フモノハ取ツテ居ラレナイ、サウ云

フノト、金融難ニ惱ンデ居ル中小商工業者達ガ、今日對等ノ立場ニ立ッテ營業ヲシヨウトシテモ、ソレハ爲シ得ナイト云フコトハ當然デアルト思ヒマス、決シテ私ハ商賣人ガ感情ノ尖銳化ノ上ニ於テ困ッテ居ル、ソレガ爲ニ刺戟サレテ反對シテ居ル、斯ウ云フ筋合ノモノデハナイト思ヒマス、實際ニ於テ仕事ガ出來ナイ、隨テ此際産業組合ニ對シテ相當ノ制限ヲ設ケテ十分其監督、取締ヲサレルカ、詰リ一般ノ中小商工業者ノ領域ヲ侵サナイヤウニサレルカ、若シサウデナケレバ尠ナクトモ都會ニ於ケル産業組合ニ對シテハ、政府ノ保護助成特權、是等ニ對シテ相當ノ考慮アルベキモノダト思ヒマハ中小商工業者ト云フモノハ立ッテ行カナハトモ、其點ニ付テモウ一度御考ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○山崎國務大臣 都會地ニ於ケル産業組合

ガ野菜ヲドウスルトカ云フヤウナ例ヲ御舉

ヤウナモノガ産業組合ニ今アルノグラウカ

ト云フコトヲ、實ハ政府委員ニ尋ねテ見マ

シリタガ、ドウモサウ云フモノガ産業組合ニ

シリサウニハ考ヘヌト、斯ウ申シテ居リマ

ス、唯能ク言ハレマス米ノ小賣ノ問題デス

ガ、是モ割合ニ世間ノ評判ガ大キイノデスケレドモ、東京ノ例ヲツ申上ゲテ見マスト、東京ノ全販聯デ、成程極ク少部分米ノ當然デアルト思ヒマス、ソレハ日ニ三十俵デガ爲ニ刺戟サレテ反對シテ居ル、斯ウ云フ筋合ノモノデハナイト思ヒマス、實際ニ於テ仕事ガ出來ナイ、隨テ此際産業組合ニ對シテ相當ノ制限ヲ設ケテ十分其監督、取締ヲサレルカ、詰リ一般ノ中小商工業者ノ領域ヲ侵サナイヤウニサレルカ、若シサウデナケレバ専ナクトモ都會ニ於ケル産業組合ニ對シテハ、政府ノ保護助成特權、是等ニ對シテ相当ノ考慮アルベキモノダト思ヒマハ中小商工業者ト云フモノハ立ッテ行カナハトモ、其點ニ付テモウ一度御考ヲ伺ヒタイト思ヒマス

ス、日ニ三十俵ヲ精白シマシテ、軍隊ト共

濟會ノ方ニ供給シテ居ルダケデアリマシ

テ、之ヲ一般ニ賣出ストカ何トカ云フコト

ハヤッテ居ラヌノデアリマス、又軍隊ト共

濟會ニ供給スル以外ニ、極メテ僅少ナ部分

他ニ供給シテ居ルヤウデアリマスガ、ソレ

ハ山ノ手ノ小賣商ノ團體トチヤント協定ヲ

シテ、サウシテヤッテ居ルト云フノガ極ク

僅カアルサウデアリマス、日ニ三十俵ノ大

部分ハ、軍隊ト共濟會ニ賣ハ納メテ居ル、

斯ウ云フヤウナコトデアリマシテ、之ヲド

ウモ市内ノ米ノ小賣商ノ諸君ナドガ色々ト

心配ヲシテ居ラレルヤウデアリマスケレド

モ、ドウモ其邊ハ事實ガ少シ誤リ傳ヘラレ

テ居ルノデハアルマイカト云フ風ニ私共實

ハ考ヘテ居ル譯デアリマシテ、殊ニ今回ノ

米穀自治管理法ト云フモノガ、東京邊リノ

ガアルノデハナイカ、斯ウ云フ風ナ氣持モ

實ハ有ッテ居ル譯デアリマス、此邊ハ何レ米

ノ委員會デモ開カレマシタラ、御教ヘモ願

マス、殊ニ率直ニ申セバ、商業機關ノ方ニ

イコト、思フノデアリマシテ、其點ニ付テ

スルコトハ、是ハ避ケ得ル限り避ケルガ宜

タル考ヘテ居リマス、併シ先刻モ申上ゲ

タマシタヤウニ、成ベク商業機關ト農村團體ト

ナケレバナラヌト云フ御答デアリマシタ
ガ、眞ニ中小商業者ガ困ッテ居ルノハ、私ハ
是ガ最モ主ナ原因デアルト思ヒマスカラ、
一ツ十分政府モ、産業組合ガドウ云フ風ナ
コトヲヤッテ居ルカ、之ヲ眞剣ニ詳細ニ御
調査ニナッテ、サウシテ相當ナ考案ヲ願ヒ
タイト思ヒマス、其他ノ事ハ又他日ノ機
会ニ譲リマス、ドウゾ一ツ十分御考慮ヲ願
ヒタイト思ヒマス、尙ホ序デニ御尋ヲ申上
ゲタイト思ヒマスノハ、信用組合ノ事デア
リマス、信用組合ノ中デ、今日非常ニ亂脈
ヲ極メテ居ルモノ、多イノハ、私ハ都市ノ
信用組合ガ比較的多イト思ヒマス、農村ノ
方ハ御承知ノ如ク非常ニ信用状態ガ能ク分
ル、一部落殆ド誰ガドレ程ノ信用ガアルカト
云フコトガ分ッテ居ル、隨テ理事者ガ亂暴ナ
ル貸付ヲシナイ限りハ、農村ノ方ノ信用組合
ハ比較的健全ニ發達スペキ筋合ダト思ヒマ
ス、然ルニ都會ノ方面ニ於テ、隨分亂暴ナ信
用組合ガ出來テ居ルノハ、無論理事者ノ遺方
ガ惡イノデモアリマスガ、一般ノ信用ノ調査
ガ十分出來ナイ、其上ニ甚ダ僭越ナ、御無禮
ナ申シ分カモ知レマセヌガ、農林省ノ御監
督ガ十分行届イテ居ラヌノデヤナイカト
思ヒマスガ、此點ニ關シマシテ、私共ハ
從來市街地ノ信用組合ダケハ、甚ダ農林

當局ニ對シテハ御無禮ナ言ヒ分カト存ジマ
スケレドモ、寧ロ私ハ切離シテ、大藏省ノ
管内ニ移シテ、大藏省デ十分監督シテハド
ウカ、斯ウ云フヤウナ私見ヲ有シテ居タ
ノデアリマスガ、今日デモ矢張私依然トシ
テサウ云フ考ヲ有ツテ居リマス、ドウシテモ
市街地ノ信用組合ノ内容ヲ改善シテ、サウ
シテ健全ナル發達ヲサスノニハ、市街地ノ
信用組合ダケハ切離シテ、之ヲ大藏省ノ管
内ニ移ス、斯ウ云フコトガ最モ適當デハナ
イカ、斯ウ云フ考ヲ有ツテ居リマスルガ、之
ニ對シマスル大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイト思
ヒマス

○山崎國務大臣 マア御答ヲ要セヌ點デア

リマスケレドモ、念ノ爲メ一寸一言申上グ
ルコトノ御許ヲ願ヒタイト思ヒマスルガ、
産業組合ニ付テ、中小商工業者側カラ色々
ノ希望ノアリマスコトハ、是ハ能ク承知ヲ
致シテ居リマス、併ナガラ同時ニ一ツ斯様
ナコトモ、是ハ申上ゲルコトモ御無禮カモ
知レマセヌガ、何トシテモ農民ノ共同ノ利
益ヲ擁護シテ行クガ爲ニ、農民ノ團體的ナ
經濟活動、是ハ今後農村ノ爲ニハ飽マデ堅
實ニ發達スルヤウニシテ行カナケレバナラ
ヌノデアリマスカラ、其組織ノ大本ニ對シ
テ、社會ガ疑ヲ挾ムヤウナコトハ、是ハ同

スケレドモ、寧ロ私ハ切離シテ、大藏省ノ
管内ニ移シテ、大藏省デ十分監督シテハド
ウカ、斯ウ云フヤウナ私見ヲ有シテ居タ
ノデアリマスガ、今日デモ矢張私依然トシ
テサウ云フ考ヲ有ツテ居リマス、ドウシテモ
市街地ノ信用組合ノ内容ヲ改善シテ、サウ

シテ健全ナル發達ヲサスノニハ、市街地ノ
信用組合ダケハ切離シテ、之ヲ大藏省ノ管
内ニ移ス、斯ウ云フコトガ最モ適當デハナ
イカ、斯ウ云フ考ヲ有ツテ居リマスルガ、之
ニ對シマスル大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイト思
ヒマス

考ヘル譯デアリマシテ、アナタノ御趣意モ
其處ニアルコトハ萬々承知シテ居リマスケ
レドモ、是ハ私ノ責任上念ノ爲ニ私此場合
一言ヲ費スコトヲ御許ヲ願ツテ置キタイト
思ヒマス、ソレカラ只今御問ノ市街地信用
組合ノコトデアリマスガ、之ニ付キマシテ
ハ成程監督ガ十分行渡ツテ居ラヌト云フヤ
ウナ點ハ、ソレハドウモ私ハ絶無トハ申上
ゲマセヌ、之ヲ將來ドウスレバ宜イカト云
フコトニ付テハ、マダ意見ヲ確定スル譯ニ
ハ參リマセヌケレドモ、マア只今ノ考ヲ率
直ニ申セバ、或ハ商工大臣ナド方御計畫ニ
ナッテ居リマスル次ノ年度カラハ、中小商工
業者ノ爲ニ特殊ノ中央金庫デモ設ケラレル
ト云フヤウナ場合ニハ、市街地ノ信用組合
ノ所屬ヲドウスルカト云フ問題モ、是ハ其

時ニ私ハ避ケテ行クベキコトデヤナイカ、
時ニ私ハ避ケテ行クベキコトヲ御承知ヲ願
テ置キタイト思ヒマス

○岡田委員長 アレハ先程今マデ提出サレ
テ居ルモノト、マダナイモノト、調べテ居
リマスカラ、今晚中ニ完了シヨウト思ヒマ
ス、サウスルト其殘リヲ新ニ請求致シマス、
政府ノ方デモ至急ニ出スモノハ出シテ戴ク
ヤウニ、ドナタカニ頼ンデ置キマス、各省
ニ亘ツテ居リマスカラ、便宜農林大臣カラ
デモ御話置キ願ヒマス

○山崎國務大臣 畏マリマシタ

○松村委員 大分晚クナリマシタガ、成ベ
ク簡潔ニ軍部兩大臣ニ向ヒマシテ、臨時利
得稅ニ專ラ關係ノアル事柄ヲ中心ト致シマ
シテ質疑ヲ進メタイト思ヒマス、一昨日
多少御聽キデアラウト思ヒマスガ、本日モ
引續イテ、私ハ臨時利得稅ノ目的物件デア
ル、客體デアル非常時景氣ト云フモノハ、
所謂軍需景氣、所謂貿易景氣、此ニツガ本
體デアッテ、ソレガ半面ニ一般消費者階級、
殊ニ農村勞働者ニ多大ナル影響ト犠牲ヲ與

ヘテ居ル、端的ニ言フナラバ被害ヲ興ヘテ
居ル、斯ウ云フ事實ト、數字ヲ擧ゲ、實際
ヲ擧ゲテ論ジ來ッタノデアリマス、私ノ意見
バカリデナク、商工省方面ニ於キマシテモ、
私ト略同ジヤウナ意見ヲ立テ、居ルコト
モ先程茲ニ詳シク讀上ゲタノデアリマス、
即チ軍需景氣貿易景氣ノ半面ニ、斯ノ如キ
犠牲者ガ起ツテ居ル、此事實ヲ摘マズニハ國
策ハ立チ得ナイ、農村對策ハ立チ得ナイ、斯
ウ云フコトヲ論ジ來ッタノデアリマスガ、殊
ニ軍需景氣ハ說明ヲ要シマセヌ、貿易景氣
ト云フモノハ、其原因ハ或ハ棉花、羊毛ノ
如キ、原料品ノ輸入モ殖エテ居リマスガ、
殊ニ増加シタルモノハ軍需關係品デアル、
鐵ノ如キ、油ノ如キ、機械ノ如キ、或ハ自
動車ノ如キ、擧ゲテ來リマスナラバ專ラ軍
需關係品ガ極端ナル増加ヲ持チ來シテ居ル、
ソレガ輸入増加トナリ、爲替ノ低落トナリ、
相倚リ相俟ツテ、直接間接ニ一般消費者大
衆、農村、勞働者ニ非常ナル惡キ影響ヲ興
ヘテ居ルト云フコトヲ、數字ヲ擧ゲテ論ジ
タノデアリマス、固ヨリ非常時軍備對策デ
アルカラ、事已ムヲ得ザルコトデハアルガ、
大體軍部大臣ハ専門外デアッテモ、此邊ノ
程度ノ一般觀ハ大體御認ニナツテ居ラレル
カ、御承知ニナツテ居ラレルカドウカト云フ

○大角國務大臣 御質問ノ全部ニ關シテハ、

私ハ能ク承ッテ居リマセヌガ、爲替安ノ爲ニ
外國カラ輸入スル物ガ高クナツタ、斯ウ云フ
コトハ無論事實デアラウト思ヒマス、只今
御述ニナリマシタ、海軍トシテノ海外ヨリ
ノ輸入品、是ハ今御述ニナリマシタ油ガ主
ナル物デアリマス、テ只今ノ見込デハ、海軍
直接ノ海外拂ハ、昭和十年度ニ付キマシテ
考ヘテ見マスルト、九年度ヨリ約三百萬圓
程減ズル見込デアリマス、是ハ併シ海軍自
ラガ直接海外ヘ拂フ問題デアリマス、ソコ
デ此海外ヨリノ輸入ノ爲ニ、輸入品ニ關係
スル物ガ高クナツタ、爲替ノ關係デ高クナル
ト云フ御議論ハ、私モ素人デハアリマスガ
御尤デアラウト考ヘルノデアリマス

○林國務大臣　只今御質疑ノ陸軍方面ニ於
キマシテハ、今日ニ於テハ軍需品デ外國カ
ラ輸入スル物ハ非常ニ減少致シマシタ、或
一部ノ特定品ノ外ハ、大體内地製品デ間ニ
合ツテ居ルト私ハ考ヘテ居リマス

○松村委員　海軍大臣カラ御示シノ通り今
マデハ海軍省ノ海外拂ハ三千萬圓乃至四千
萬圓、本年ハ三百萬圓バカリ減ルト云フコ

○林國務大臣　只今御質疑ノ陸軍方面ニ於キマシテハ、今日ニ於テハ軍需品デ外國カラ輸入スル物ハ非常ニ減少致シマシタ、或一部ノ特定品ノ外ハ、大體内地製品デ間ニ合ツテ居ルト私ハ考ヘテ居リマス

トデアル、陸軍省ハ大臣ノ御話ノ通りニ憲
カデアッテ、昭和九年度ニ於テ九百萬圓バカ
リシカ海外拂ガアリマセヌ、非常ニ少イ、
私ノ間ハント致シマシタコトハ、陸海軍直
接ノ海外拂ハ、成程兩方合セテ多イ時デモ
四千五百萬圓程度デアリマス、本年度ハ減
ルヤウナ傾向デアルコトハ、或ル意味カラ
申セバ非常ニ仕合セデアリマスガ、私ハ直
接拂ノコトヲ主トシテ問フテハ居リマセ
ヌ、軍事豫算ガ増加スル、其結果全國ノ軍需
工業ガ盛シニナルカラ、茲ニ勢ヒ各方面ノ
工業ガ必要ナ資料ヲ求メルカラ、ソコデ器
械或ハ自動車或ハ各種ノ部分品、油、護謨、
是等專ラ軍事關係ノ工業ガ非常ニ増加ス
ル、羊毛トカ棉花トカ云フ物ヲ除イテモ、
斯ノ如ク海外拂ガ非常ニ増加スルノデアル
——是ハ御安心ヲ願ヒタイ、オ互ニ國策ヲ
論ジテ居ルノデアリマスカラ、ドウカサウ
云フ趣旨デ問ウテ居ルノデアリマスカラ、
其趣旨デハッキリ御答ヲ願ヒタイ、大體海軍
大臣ハ、其結果色々消費大衆ニ及ボスコト
ハアルカモ知レヌト云フヤウナ、或ル程度
マデ御承認ノ御議論デアリマシタガ、先ヅ
キリ擱ンデ置イテ貰ヒタイ、サウシテ段々
已ムヲ得ザル國家ノ事情デアルガ、之ヲハッ

輸入超過トナリ、殊ニ貨幣價值が變動シテ
今年ハ早クモ四十日間デ一億ノ輸入超過デ
アル、大藏大臣ハ色々言ッテ居ラレマシタ
ガ、今年度ノ輸入超過ノ現狀、今後ノ爲替
ナドニ對シテハ、私ハ「デリケート」デアル
カラ餘リ論ジタクアリマセヌガ、聊カ不安
ナキニシモアラズノ現狀デアル、國際貸借
カラ延イテ爲替ニ關係シ、是ガ段々一般消
費者、殊ニ農村勞働者ニ非常ニ關係スル、
ニモ拘ラズ一方農村ノ收入ハ殖エナイ、斯
ノ如キ悲慘ナ現狀、勞働者ハ非常ニ軍需工
業ガ盛ンデアルニ拘ラズ、部分的ノ勞銀ハ
上ツタガ、全國平均ノ勞働者ノ賃銀ハ、實際
賃銀モ定額賃銀モ昭和五六年ヨリハ非常ニ
減ツテ居ルト云フコトハ事實デアル、此處デ
端的ニ言フナラバ、一部分ハ非常ニ利得シ
ハ、否定出來ナイ、是ハ既ニ定論デアル、
テ非常ニ利益ヲ擧ゲテ居ル者ガアルガ、國
民大衆ハ生活ノ不安ヲ感ズルト云フコト
バナラヌ筈デアル、細カイ議論ハ除イテ、
陸軍ノ「パンフレット」ニ於テモ、海軍ノ吾々
ニ渡サレタル「パンフレット」ニ於テモ、末次
大將ノ議論ニ於テモ、國防ノ根本問題ハ國
民生活ノ安定ニアル、國民生活ノ安定トハ

衣食住ノ安定ナリト、斯ウ云フ書類ヲ陸海軍カラ吾々ニ配付シテ居ラレル、所ガ今日

此稅ノ目的ニナッテ居リマスル 非常時景氣ノ半面ニハ、社會大衆、勞働者並ニ農民ハ

非常ニ困ッテ居ル、斯ウ云フ事實ガ起ッテ居ルノデアルガ、此點ニ付テ軍部ハ、國防ノ第一義ハ生活ノ安定ニアリト云フ論點カラ見

マシタナラバ、ドウ云フ御所感ヲ懷クカ、簡單ニ御伺ヲ致シマス

○大角國務大臣 本會議デモ御答致シテ居

リマスガ、色々御説ヲ伺ッテ見ルト、農村ノ窮狀ハ段々私共ノ理解ヲ深メルヤウニナリ

マシタガ、實ハ私共ハ軍事ニ關スル調査機

關ハ色々有ッテ居リマスルガ、部外ノコトハ不幸ニシテ自ラ調査機關ヲ有タズ、各方面

ノ意見ヲ聽イテ、ソレニ依ッテ判斷スル以外、其原因ガ軍部ノミカラ來ルト云フヤウニハ

ル理由デ色々ナ農村問題ガ起ッテ居ル以上、考ヘラレマセヌ、是ハ非常ニ複雜多岐ニ涉

テ居ルト察セラレマス、素ヨリ私共ハ素人デ、ソレ等ノ原因ナドヲ仔細ニ分析ヲシ、

此真因ヲ見定メルコトハ困難デアリマスガ、唯一言申シテ置キマスノハ、多分豫算

委員會カラノ御要求デ書類ヲ提出シタ中ニ、斯ウ云フノガアリマス、現今ノ軍需景

氣ト云フヤウナ問題デ、民間會社デ其製品

ノ一割以上ガ海軍、民間ノ製品ガ九割ヲ占メルト云フモノ、軍需品ノ製造ノ割合ヲ

取ッテ見タガ、昭和七年度デハ五十六會社、社ノ分ヲ取ッテ見タノデアリマス、所デ此割

合ヲ見マスルト、段々海軍ノ註文ノ方ガ民間ノ註文ヨリ減ッテ來ルノデアリマス、例ヘ

バマダ昭和九年度ノ統計ハ出來マセヌガ、七年度ハ五十六會社ノ平均ガ三割九分九厘、八年度ニハ三割六分一厘ニ減ッテ居リマ

ス、サウ云フ風ニ軍需工業ヲヤッテ居ル會社ニモ、民間ノ仕事ガ殖エテ居ルノデハナイ

カト思フノデアリマスガ、其邊ノコトハハッキリ分リマセヌガ、要スルニ割合デ言ヒマ

スト、サウ云フ會社ニ對スル民間ノ註文ガ殖エタヤウニ見エマス、隨テサウ云フヤウナコトモ、矢張多方面ニ大キナ影響ヲ及ボシテ居ルノデハナイカト考ヘラレマス

○松村委員 私モ陸海軍大臣ト同ジヤウニ、軍事關係ノミカラスル結果ヲ來タシタノデアルト云フ、サウ云フ輕率ナコトハ決

海軍省ノ調査機關デアリマスガ、此中ニハ

「國防ニ專念シテ國民生活ヲ忘レルヤウナシテ申上ゲマセヌ、御安心ナサイ、唯、今

ノ海軍大臣ノ御説明ハ——是ハ非常ニ小サ

イコトデアルガ間違ッテ居ルノデハナイカ、

吾々ニ渡サレタ此表デゴザイマスカ、是ト

達ヒマスカ

○大角國務大臣 是デス

メスガ、是ハ全ク外ノ數字デアリマス、強テサレタコトハ此表ト全ク關係無イノデアリ

マスカラ、全部抹殺シテ置キマス、海軍大臣ハ餅屋ハ餅屋デアルト本會議デ屢々言ハレタ、又今ノ御説明モアッタガ、私ハ餅屋ハ

餅屋デアルト云フコトハ——或ル意味カラニモ、民間ノ仕事ガ殖エテ居ルノデハナイ

カト思フノデアリマスガ、其邊ノコトハハッキリ分リマセヌガ、要スルニ割合デ言ヒマ

スト、サウ云フ會社ニ對スル民間ノ註文ガ殖エタヤウニ見エマス、隨テサウ云フヤウナコトモ、矢張多方面ニ大キナ影響ヲ及ボシテ居ルノデハナイカト考ヘラレマス

○松村委員 私モ陸海軍大臣ト同ジヤウニ、軍事關係ノミカラスル結果ヲ來タシタノデアルト云フ、サウ云フ輕率ナコトハ決

海軍省ノ調査機關デアリマスガ、此中ニハ

「國防ニ專念シテ國民生活ヲ忘レルヤウナシテ申上ゲマセヌ、御安心ナサイ、唯、今

ノ海軍大臣ノ御説明ハ——是ハ非常ニ小サ

イコトデアルガ間違ッテ居ルノデハナイカ、

吾々ニ渡サレタ此表デゴザイマスカ、是ト

付テ、非常ニ熱心ニ——私ハ必シモ研究シテ惡イトハ申シマセヌ、私ハ陸海軍ノヤウナ非常ナ機關ヲ有ッテ居ル所

ハ、發表ノ仕方内容ニ付テ時々異論ハアリマスルガ、是ハ當リ前ノ事デアリマス、當然ナ事ヲ言ウテ居ラレルノデ、私ハ非常ニ結構ダト思ヒマス、併シ其ヤウナ事

ハ示シテ居ラヌト云フコトデ簡単ニ御逃ゲ下サッタラ、アナタハ吾々ニ之ヲ配付サレタ趣旨ト違フト思ヒマスガ、是ハ是以上問ヒ

マセヌ、ソコデ私ハ鬼ニ角ニモ是ハ陸海軍兩方カラ私共ニ書類ヲ配付サレテ居ル、陸

軍大臣ハ本會議デハ軍需會社ニハ餘り八割以上儲ッテ居ル會社ハナイト言ッテ居ラレルガ、矢張國務大臣トシマス以上ハ、餅屋ハ

餅屋デアルト簡單ニ御逃ゲ下サッタコトニ困ル、調査機關ヲ有ッテ居ラヌト言フガ、

私ハ決シテ枝葉ノコトヲ申スノデハナイガ、海軍省ノ軍事普及部ト云フモノカラ「國

ガ、海軍省ノ軍事普及部ト云フモノガ出テ居ル、

民生活ト軍縮問題」ト云フモノガ出テ居ル、

社ニ付テハ、其註文會社ノ利益ハ資本金ハ

分ラヌガ、利益ハ昭和八年度ニ於テ何ガシ

ト舉ゲテ居ラレルガ、大體昭和九年度ニ於

テ一割八分八厘ノ利益ヲ舉ゲテ居ル、此一割八分八厘ノ利益ト云フモノハ赤字會社ト

云フモノモアルカラ、大體海軍註文會社ハコトヲ、ハッキリ御示シニナッテ居ル、此二割以上儲ッテ居ル會社ハ少クナイ、私ハ是ハ

軍需品ノヤウナ未來永劫續クカ續カ又カ分
ラヌ、殊ニ非常ニ技術ノ發達、變遷ノアル
會社ハ餘リ儲ケチヤイカヌト云フ簡單ナル
議論ハ立テマセヌガ、ドウカ是ニ一割モ儲ッ
テ居ル會社ガアルト云フコトヲ、吾々ニ御
示シニナツテ居ル以上ハ、海軍ノ軍需品會社
ハ、是ハモウ少シ軍事當局ニ於テ、私ハ未
會議デ勞頭ニ申シマシタ通り、軍需品ノ註
文ニ當リマシテハ、歐米各國ガヤルヤウニ
生産費「プラス」、或ル一定ノ利潤ト云フ、嚴
格ナル制度ニ依ッテ、軍需品ヲ註文サレルコ
トガ宜イノデハナイカ、相當ニ二割以上モ儲
ケテ居ル會社ガ大分海軍關係ニハアル、陸
軍ノ方ノハ此處ニ示サレタト思フガ、一割三
分七厘デアリマスカラ、陸軍ノ方ハ儲ガ割
合ニ少イヤウニ見エルガ、非常ニ優秀ナル
技術ヲ要スル所デアル、唯利益ガ多イト言ツ
テ、之ヲ簡單ニ批評スルコトハ避ケタイト
思ヒマスガ、併シ一割モ儲ッテ居ル會社ガ海
軍方面ニ澤山アルカラ、コ、ハ軍需品ノ註
文ニ當リマシテハ、節約ノ餘地ガアルノデ
シテ政府當局カラ、一應御答ヲ願ッテ置キマ

○村上政府委員 大體申上ゲマス、只今申サレマシタ昭和九年度ニ於キマシテハ五十
二會社ノ中デ二割ニ近イ配當ヲシタモノガ
アルト云フコトヲ申サレマシタガ、ソレハ
極メテ少數デゴザイマス、今私ハサウ記憶
致シテ居リマス（松村委員「利益デス、利益
金デス」ト呼フ）利益金デス、海軍ガ關係ヲ
有ツテ居リマス九ツノ大キナ造船會社、其
中デ八分以上ノ配當ヲ致シタモノガ五ツデ
ゴザイマス、其他ハ無配當デアリマス、ソ
レカラ其他ノ航空關係デ五ツノ會社ガアリ
マスルガ、其中デ矢張八分ノ配當ヲシタモ
ノガ三ツデ、後トノ二ツハ無配當、斯ウ云
フ風ニナツテ居リマス、尙ホ是ガ間違ツテ居
リマシタラ訂正シマスガ大體サウ云フ風デ
アリマス

ヤウナ利益ニナリマスカ、軍需會社デ三割以上儲カッテ居ル會社ガアルカラ、全體ノ會社ガ平均シテ斯ノ如クナッテ居ル、今日日本全國ノ會社ヲ御覽ナサイ、此臨時利得稅デ大藏省ガ青歛誅求シヨウトスル此全國ノ平均ハ一割位ニシカ當テ居リマセヌ、日本全國ノ會社ガ平均ノ收益率ガ一割幾ラニシカ當ッテ居ラヌニ拘ラズ、海軍ノ會社ハ、茲ニ一割八分八厘ト云フ倍モ儲カッテ居ルト云フコトハ、是ハ攻擊デハアリマセヌガ、是ハ海軍當局ガ自ラ是等ノ軍需會社ニ註文スル時ニハ、モウ少シ軍需品ノ單價引下ト居ルト思ヒマスガ、如何デアリマスカ

○村上政府委員 申上ゲマス、ソレニ對シ
テ將來海軍ハドウ云フ風ニ使フカ、是ハ今
軍ハ御承知ノ通り、此契約ヲ致シマスノハ、
大體主ナルモノニ付キマシテハ購買名簿ト
云フモノガアリマシテ、其購買名簿ハ慎重
ナル研究ノ結果、一ツノ委員會ヲ以テ組織
サレテ居ル、其研究機關ニ依ッテ調査ヲシ、
又實地ノ現狀ヲ調査致シマシテ、愈々是ナラ
バ大丈夫ト云フ會社ダケヲ撰ッテアルノデア
リマス、此購買名簿ニ登載サレ居リマス
會社以外カラハ、購買ガ出來ナイコトニナッ
テ居リマス、其購買名簿ノ會社ハ主トシテ
其設備モ必要デアリマスルガ、信用ト云フ
點ヲ第一ニ見テ居ルノデアリマス、ソレデ
ソコニ監督ト云フ者ガ居リマシテ、始終其
マシテハ工事ノ現場ノ狀況、是ナンカモ調
査致シテ居リマス、一方ソレヲヤリマスト
會社ノ營業狀態、又工事ノ實際、細カク入り
マシテハ工事ノ現場ノ狀況、是ナンカモ調
査致シテ居リマス、一方ソレヲヤリマスト
タヽヲ集メマシテ、又其當時ノ時價其他總テ
同時ニ、海軍ニ於キマシテハ又自己ノ豫定
價格、之ヲ積リマスルノニハ有ユル「デー
ヲ參酌致シマシテ、嚴正ナル豫定價格ヲ取ッ
テサウシテ其兩方ニ依ッテ此契約ノ單價ト

○大角國務大臣

政府委員ヨリ申上ゲマ

サウ云フモノニ

エシテドウスルカト云フユ

テサウシテ其兩方ニ依テ此契約入單價ト

今申シマシタノハ、極ク平常ナ狀態ニ於テデアリマスルガ、軍需工業ニ於キマシテハ、特ニ急速ヲ要スルヤウナ場合ガアリマス、短期日ノ間ニ製品ヲ得タイ、斯ウ云フヤウニ納期ノ短イト云フ場合ニハ相當ソレマシテ、價格ニ相當働キヲ及ボスコトハ、是ハ申スマデモナイト思ヒマス、サウ云フ關係デ現在モヤッテ居リマシテ、將來ハ尙ホ一層其點ニ付テハ注意ヲ致シマシテ、出來ルダケ合理的ナル單價ニ依テ契約スル、斯ウ云フコトニ付テハ之ヲ實行ニ移ス堅イ決心ヲ有ッテ居ルト云フコトヲ、此處デ申上ゲテ置キマス

○松村委員 只今ノ御答辯ハ實際ノ事ヲ細カク御話ニナッタダケデ、私ノ間ハント欲スル趣旨ニハ、ハッキリ合致シテ居リマセヌガ、只今嚴正豫定價格ト云フコトニ付テ、色急速ヲ要スルトカ云フ御説明ガアッタガ、兎ニ角全國ノ平均ニ於テハ一割強シカナイ——一割僅カシカ現在ニ於テハ収益率ガナイ、ソレニモ拘ラズ、此課稅ヲシヨウト云フコトガ、今問題ニナッテ居ル、海軍ノ方ハ平均一割八分デアルカラ、中ニハ二割、三割、モット利益ノアル會社ガアルコトヲ、チヤント明カニ示サレテ居ル、全國ノ平均ヨリモ

倍ニ近イ收益率ヲ擧ゲテ居ルト云フコトハ、造船會社トカ云フ箇々ノ問題ハ兎モ角モ、海軍ノ舉ゲラレテ居ル五十有餘ノ會社ニ付キマシテハ、一般民間ノ會社ヨリモ斯ノ如キ倍ニ近イ利益ノアルト云フコトハ、明カニ示サレテ居ル、陸軍ハ一割三分七厘、デアリマスガ、ソレデモ全國ノ平均會社ヨリモ二割強ノ收益率ガアルト云フコトヲ示サレテ居ル、是ハ餘程御注意ヲ願ハナケレバナラヌ、無論急速ヲ要スルモノモアリ、色々問題ガアルカラ、全國ノ會社ノ平均利廻デ宜イナント、簡單ニ申シマセヌガ、私ノ申シマスコトハ、陸海軍ノ註文ヲ發スルニ當ッテハ、嚴正ナル豫定價格ト云フモノヲ、モット外國デヤルヤウニ、生産ノ「コスト」ヲ示シタモノニ對シテ合理的ナル利益ヲ與ヘルト云フヤウニ、モット簡単率直ナルト」ヲハッキリ明示サシテ、其生産ノ「コスト」ヲ示シタモノニ對シテ合理的ナル利益以來私ノ問フ所ハ其處ニアリマス

○松村委員 私ハ今ノ御答辯ハ甚ダ要ヲ得ナイト思フ、會計法規上左様ナコトハ斷じテ出來マス、唯今軍部ノ所謂嚴正ナル豫定價格ト云フモノヲ捨ヘル前ノ場合ナノデ、其捨ヘル前ノ生産費ヲ、ハッキリ公表サシテ、ソレニ或ル程度ノ「マーク」ヲ設ケテ、多クノ會社カラ見積リヲ取ッテヤレバ宜イノダカラ、今ノ手續ノ問題ハ、會計法規ニ關係ノナイ前ノ話ダ

少シク御質問ヲ誤解致シザイマスカラ、其點ハ御諒承アランコトヲ御願致シマス

○林國務大臣 陸軍ノ方ハ政府委員ヨリ御答ヲ致サセマス

○平手政府委員 御答致シマス、今迄ノ購買方法ヲ改正シテ、原價ニ對シ或ル一定ノ利益ヲ見込ンデ、サウンテ契約ヲシタラドサレテ居ル、是ハ餘程御注意ヲ願ハナケレバナラヌ、無論急速ヲ要スルモノモアリ、ウカ、斯ウ云フ意味ノ御質問ノヤウデゴザイマスガ、此方法ハ今日ノ會計法ノ下ニ於キマシテハ、實行ガ出來マセヌ、尙ホ斯ウ云フ方法ニ付キマシテハ、外國ニ於テモ隨分ヤッテ居ル例ガアリマス、軍部ト致シマシテハ研究ハシテ居リマスルガ、現在ノ會計法ノ下ニ於テハ、直チニ實行シ得ナイト云フ關係ガアリマスルノデ、ドウゾ左様御諒承ヲ願ッテ置キマス

○松村委員 是ハ陸海軍兩大臣ニ結論ノ希望ヲ、ハッキリ申上ゲテ置キマス、軍部兩省カラ御示シノ此表ニ依リマシテモ、軍需關係ノ會社ハ特ニ一般會社ヨリモ儲カッテ居ルト云フコトハ事實デアリマス、事實デアリマスルガ故ニ、ドウカ軍需品ノ註文ニ當底的ニオヤリ願ヒタイ、サウデナケレバ斯ウ云フ軍需關係ノ會社ニ、特ニ一般ノ會社ヨリモ、倍モ利益ヲ擧ゲサセルト云フコトハ、ドウシテモ是ハ此非常時ノ際ニ軍部ノ經費節約ト云フ觀點カラ、更ニ此事ヲ御願致シマシテ此問題ハ此程度ニ致シテ置キマス

○平手政府委員 少シク御質問ヲ誤解致シザイマスカラ、其點ハ御諒承アランコトヲ御願致シマス

○松村委員 私ハ今ノ御答辯ハ甚ダ要ヲ得ナイト思フ、會計法規上左様ナコトハ斷じテ出來マス、唯今軍部ノ所謂嚴正ナル豫定價格ト云フモノヲ捨ヘル前ノ場合ナノデ、其捨ヘル前ノ生産費ヲ、ハッキリ公表サシテ、ソレニ或ル程度ノ「マーク」ヲ設ケテ、多クノ會社カラ見積リヲ取ッテヤレバ宜イノダカラ、今ノ手續ノ問題ハ、會計法規ニ關係ノナイ前ノ話ダ

○大角國務大臣 淵ニ御尤ノ御注言ト拜承シマス、今迄モ相當係リノ者ヲ督勵ハ致シ

テ居リマスルガ、尙ホ一層其點ニ付テ八十
分努力シテ成ベク此無駄ナ費用ヲ使ハナイ
ヤウニ、十分盡力致シタイト考ヘテ居リマ
ス

○松村委員 次ニハ海軍大臣ハ材料ノ騰貴

ト云フコトハ、今日軍事費ノ厖大ヲ來シタ
ル大キナ原因デアルカラト、本會議デ私ニ
御答ニナリマシタガ、此材料ノ騰貴ニ付キ
マシテハ、何カ適當ナ方策ヲ講ゼラレマシ
タカ、言葉ヲ換ヘレバ材料ノ騰貴ノ抑制、
或ハ是正施設ニ付キマシテ、商工大臣其他
ノ大臣ト、大體如何ナル折衝ヲナサレテ居
リマスカ、具體的デナク大局論カラ伺ヒマ
ス

○大角國務大臣 只今御尋ノ點ニ關シマシ

テハ、大體論トシテ前ノ商工大臣、又現在
ノ商工大臣ニモ始終御話ヲ致シマシテ、就
中商工省ノ監督下ニアル所ノ日鐵ニ註文ス
ル鐵、サウ云フモノハ其單價ガ高クナレバ、
直ニ海軍ノ豫算ニモ影響スルカラ、サウ云
フモノハ現在ノ海軍ノ豫算ガ變更セザル限
リ、此價格ノ昇騰ハ困ル、サウ云フヤウナ
コトニ付テ、始終話合ハ寄リ、致シテ居
リマス、又商工省ノ多大ナル御盡力ニ依リ
マシテ、年度ノ初ニ年度契約ヲ致シマシテ、
相當市價カラ安イ單價ノ契約ニナッテ居ル

ト思ヒマス、併シ其數字ノコトハ一向私ニ
ハ能ク分リマセヌカラ、若シ數字ニ付テノ
御尋ガアリマスナラバ、政府委員ヨリ御答
致サセマス

○松村委員 私ハ今ノ商工大臣ニ度々サウ
云フコトヲ折衝シテ居ルト云フコトハ、私
共ノ居ツタ時ニハ、其事モ伺ッテ承知シテ居
リマスケレドモ、今日非常ニ問題ニナッテ
居ル軍需材料品ノ騰貴ガ著シイト云フコト
ニ對シマシテハ、私ハ商工大臣ニ明日起
ノ中ニ質シタイト思フノダガ、商工省ハ
肝腎ナル所ノ重要產業ノ統制法、其他材
料品ノ購入ニ關シマシテ、モウ少シク徹底
シテモ、是等ノ重要產業ノ統制法、其他材
料品ノ購入ニ關シマシテ、モウ少シク徹底

シテモ、斯ウ云フコトヲ申上ゲマシテ
肝腎ナル所ノ重要產業ノ統制法ヲ眠レルガ如
キ現狀ニ置イテ居ルノデアリマスガ、此事
ハ軍部兩大臣ハドウ御覽ニナッテ居ルカ伺
ヒマス

○大角國務大臣 今ノ問題ハ一寸私ニハ御
答シ難イ問題デアリマスガ、商工省モ一生
懸命ヤツテ居ルコト、考ヘテ居リマス(笑
聲)

○松村委員 是ハ商工大臣ニ具體的ニ質シ
マス、唯茲ニ申上ゲテ置クコトハ、商工省
ノ重要產業統制法ト云フモノハ、最初是ガ
出來マシタ時カラ消費者ノ側ノ利益ヲ主ト
シテ考ヘズニ、アノ當時ハ非常ニ衰微シタ
ル日本ノ產業ヲ守リ立テ、復活シヨウト云
フ趣旨ヲ以テ出來タ所ノ法律デアリマス、
ノ觀點カラ、兩方カラ訂正シナケレバナラ
ナイト云フコトニナッテ居ルニモ拘ラズ、今

ソレ故ニ重要產業統制法ハドウシテモ一日
モ速ニ之ヲ消費者ノ觀點カラ、或ハ生産者
ニ分配サレテ居ル現狀デアル、即チ陸海軍
日マデ商工省ハ此議會ニ訂正スル意思ナキ
コトヲ言明セラレテ居リマス、ソレ故ニ軍
部兩大臣ハドウカ自己ノ立場カラ見ラレマ
シテモ、是等ノ重要產業ノ統制法、其他材
料品ノ購入ニ關シマシテ、モウ少シク徹底
シテモ、斯ウ云フコトヲ申上ゲマシテ
肝腎ナル所ノ重要產業ノ統制法ヲ眠レルガ如
キ現狀ニ置イテ居ルノデアリマスガ、此事
ハ軍部兩大臣ハドウ御覽ニナッテ居ルカ伺
ヒマス

次ニ伺ヒマスコトハ軍部兩大臣ハ今日マ
デ色々ナ機會ニ於キマシテ出來ル限り各種
ノ材料ヤ何カラ民間カラ取ヅテ居ルト云フ
御話デアリマシタガ、軍部兩省カラ私共ニ
配付サレマシタ書類ニ依リマスルト、陸軍
ノ軍需工業品ノ註文、昭和十年度一億六千
九百萬圓、兎ニ角其八割内外ハ東京ト、大
阪ト、兵庫ト、愛知ノ四府縣デアル、又陸
海軍ノ豫算ノ中、農漁山村カラ直接買ツテ居
ルト云フモノモ、此表デハ昭和九年度僅ニ
二千四百萬圓、昭和十年度ハ稍多クナッテ
二千六百萬圓強、直接軍部ガ地方カラ買ツ
テ居ルモノハ一千數百萬圓ニ過ギナイ、其

中北海道ト、巖手ト、廣島ト、茨城ト、香
川ト、朝鮮デ半分ヲ買ツテ居ルカラ、残リ僅
カノ千何百萬圓ト云フモノガ全國四十縣餘
ノ言ハレル軍需工業品ノ大部分ハ、其潤フ
所ハ都會地デアツテ、農山漁村ニハ及バナイ
ト云フコトハ明瞭デアリ、又直接軍部ガ購
入スルト誇ツテ居ラレマスモノモ、其二千
數百萬圓ノ大半ハ五六ノ縣デアツテ、地方ノ
的ニ軍部兩大臣カラ商工省當局ヲ鞭撻スル
ノ必要アリ、斯ウ云フコトヲ申上ゲマシテ
詳シイコトハ商工大臣ニ私カラ代ツテ詰問
鞭撻ヲ申上ゲマス

一般ノ縣ニハ及シテ居ラナイト云フ此事實
ハ、軍部カラ出サレタ數字デアリマスカラ
間違ナイト思ヒマスガ、左様心得テ宜シウ
ゴザイマスカ

○林國務大臣 只今ノ御質疑ニ御答致シマ
ス、大體ニ於テ陸軍アタリカラ註文等ヲ致
シマスル費用ノ大部分ガ、大ナル商業都市
ト云フヤウナ方面ニ落チテ、農山漁村方面
ニ行ク金額ガ極メテ少イト私共考ヘテ居
リマス、隨テ出來得ルダケ農村方面カラノ
糧秣、兵器材料、馬匹直接購入ト云フヤウ
ナコトニ付テハ、相當ニ努力ヲ致シテ居ル
考デアリマス

○村上政府委員 大體先程申サレマシタ中
デ、數字ニ付テハ今ドウト云フコトヲ申上
ゲルコトガ出來ナイノデアリマスガ、海軍
ノ軍需工業ガ大都市ニ集ツテ居ル、海軍デハ

向ニアル此現情ヲ目シテ、軍部ガ自分ノ豫算ダケ取ラレテ満足セラレルト云フコトニ付テハ、吾々ハ國民トシテ、殊ニ農村方面ノ觀點カラ之ヲ觀察シマスルナラバ、非常ニ遺憾ノ點ガ多イノデアリマス、是等ノ點ニ付キマシテ先ノ内閣ノ時ニハ五相會議ニ依テ、軍部大臣ハ此國民ノ生活ノ問題ニ付テ特ニ機關ヲ設ケラレテ會議ニ與リ、意見モ述べラレテ居ツタ、事情ハ變ルカモ知レナイガ、此内閣ノ下ニ於キマシテモ、軍部大臣ハ此點ニ付キマシテ徹底的ナル意見ヲ吐カレルニアラザレバ、國防ノ安固ハ期セラレヌト云フ結論ニナルノデアリマスガ、今日マデノ努力ヲ以テシテハ、形ノ上ニ現レテ居ラヌガ、軍部大臣ハ今後此内閣ニオヰデニナッテ、自ラ唱ヘラレ、希望ト言フガ、希望ニアラズ、國防ノ安固ハ之ヲ期セナケレバナラナイト云フ信念ヲ有タル、ナラバ、軍部兩大臣ハ如何ナル覺悟ト信念ヲ以テ、今後ノ閣議、今後ノ對策ヲ講ズル考デアルカ、ソレデ餅屋ハ餅屋デアルガ、國ヤラセルコトハ、餅屋ハ餅屋デアルガ、國防ノ眼點カラ意見ヲ述ベラレ、之ヲ強調スルト云フコトハ軍部兩大臣當然ノ責務デハナイカト思フ、御所見ハ如何デアリマスカ

付テハ、吾々ハ國民トシテ、殊ニ農村方面ノ觀點カラ之ヲ觀察シマスルナラバ、非常ニ遺憾ノ點ガ多イノデアリマス、是等ノ點ニ付キマシテ先ノ内閣ノ時ニハ五相會議ニ依テ、軍部大臣ハ此國民ノ生活ノ問題ニ付テ特ニ機關ヲ設ケラレテ會議ニ與リ、意見モ述べラレテ居ツタ、事情ハ變ルカモ知レナイガ、此内閣ノ下ニ於キマシテモ、軍部大臣ハ此點ニ付キマシテ徹底的ナル意見ヲ吐カレルニアラザレバ、國防ノ安固ハ期セラレヌト云フ結論ニナルノデアリマスガ、今日マデノ努力ヲ以テシテハ、形ノ上ニ現レテ居ラヌガ、軍部大臣ハ今後此内閣ニオヰデニナッテ、自ラ唱ヘラレ、希望ト言フガ、希望ニアラズ、國防ノ安固ハ之ヲ期セナケレバナラナイト云フ信念ヲ有タル、ナラバ、軍部兩大臣ハ如何ナル覺悟ト信念ヲ以テ、今後ノ閣議、今後ノ對策ヲ講ズル考デアルカ、ソレデ餅屋ハ餅屋デアルガ、國ヤラセルコトハ、餅屋ハ餅屋デアルガ、國防ノ眼點カラ意見ヲ述ベラレ、之ヲ強調スルト云フコトハ軍部兩大臣當然ノ責務デハナイカト思フ、御所見ハ如何デアリマスカ

○林國務大臣 大體ノ只今ノ松村君ノ御意コハ御尤ト拜承致シマス、軍部ノ立場トシマシテハ、國防ノ最小限ト云フモノガアリ、其場合ニ其最小限ヲ無暗ニ減少スルト云フコトハ責任上困ル、斯ウ云フ問題ガ起ル、ソレデ一方ノ農山漁村ノ救濟ト云フ問題モ亦國防上捨テ、置クコトノ出來ヌモノデアリマス、サウナルトソコニ國費ノ膨脹ト云ヒマスカ、國防モ充實シ、又農山漁村モ公平ニ之ヲ救ハントスルナラバ、ソコニ財政上ノ問題ガ起ル、此場合ニ財政當局ガ諸種ノコトヲ考ヘラレテ、國家全體ノ狀態ヨリ觀察シテ、此點ヨリハドウモ費用ガ出セヌ、斯ウ云フコトニナリマスト、ソコデ問題ハ衝突スルコトニナルノデアリマスガ、私共トシテハ所謂財政ノ狀態ガ許ス限リニ於テ、國防ノ充實モ或ル程度ハ満足ラシ、ソレカラ農山漁村ノ方面ノ需要ニモ應ズルヤウニシテ貴ヒタイト云フ意味デ、所謂財政當局ニ或ル場合ニ於テハ懇願ラシ、或ル場合ニ於テハ其財源ノ捻出ニ付テノ研究ヲ希望スル、斯ウ云フ立場デヤルヨリ外、今マデノ所デハ方法ガナイ、第三者ガソレナラバスウ云フ風ニ協調シヨウト云フ所デ、初メテ國家ノ豫算ガ成立ツノデアリマスカラ、其財政當局ノ言フ方ハ無視シテ、吾々ノ主

張ダケヲ何處マデモ貫クト云フ譯ニハ行カナイ、ソレハ所謂三者ノ歩寄リト申シマスカ、其三者ノ歩寄リヲ總理ガ適當ニ按配セラレルト云フ所デ、國家ノ財政ガ成立ツ、ソレ以上ハサウ云フ風ニ努力スルヨリ外今ノ所デハ私共ハ仕方ガナイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○松村委員 軍部兩大臣ハ財政ノコトハ無論餅屋ニ委セルト云フ御考ノヤウデアルガ、私ハ軍部兩大臣ガ居ラナイ時ニ、先程ズンバ、進ンデ此財政ノ當局ヲ鞭撻シテ、農村救濟ノ爲ニ、是ガ轄テ廣義ノ國防ニナルト云フコトデアルナラバ、此邊ノコトニ付キマシテ、局外者デアッテモ、閣僚ノ一員トシテ御努力アランコトヲ切ニ御願スル、是ガ出來ナケレバ、折角ノ軍備モ完成シナイト云フ御意見デアルカラシテ、ドウカ此點ニ付キマシテ軍部兩大臣ハ、マダ時モアルコトデアルカラ、熱心ニ現内閣ニ向ッテ、此方面ノ解決ニ努力セラレンコトヲ切望シテ置キマス

○岡田委員長 松村君、一應此處デ止メテ、此次ニサレタラドウデスカ、大分晚クナリマシタカラ

イ問題ハ澤山アルト思フノデアリマスガ、是ハ他日ニ殘シマシテ、今日ハ一應此邊デ質疑ヲ打切テ置キマス。

○岡田委員長 ソレデハ一分ト云フコトデシタカラ、中島君——其次ニ龜井君ノ連關質問デ許シマス

○中島委員 陸軍大臣ニ一寸御尋申上ゲマスガ、昭和八年度ノ決算ヲ見マスルト、一千五百萬圓以上ノ使ヒ残リガ出來テ居ル次第デアリマス、其内譯ノ大部分ハ、北滿鐵道ニ對スル所ノ運送貨未拂ト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、其他兵器ノ製造ガ間ニ合ハナカッタト云フコトヲ承テ居リマスガ、一千五百萬圓ト云フト、昭和八年度ノ豫算ニ對シマシテハ、四億八千萬圓デアリマスカラ、約四分近イ小數ニナリマスケレドモ、作戰資材ノ方カラ見マスルト、一億一千萬圓ノ昭和八年度ノ作戰資財ノ金額ニ對シテ、約一割五分ニ當ツテ居ルノデアリマスガ、是ハ何處ノ工業能力ガ不足ノ爲ニ造兵廠ノ工業能力ガ足ラヌ爲デアルカ、民間ノ工業能力ガ足ラヌ爲メアルカ、兎モ斯ウ云フ結果ヲ來シタノデアリマセウカ、

シタノハ製造能力ガ足ラヌ爲ニ繰越シタノデハアリマセヌノデ、科學ノ進歩或ハ又満洲事變ノ實戰ノ經驗ニ鑑ミマシテ制式ノ改正、或ハ設計ノ變更ト云フヤウナ方面ニモウ少シ研究シタイト云フ所カラ、此百八十分ノ原因ハドウ云フ所ニアルノシタト云フ所ノ原因ハドウ云フ所ニアルノ

ニアリマセウカ、是ハ豫算ヲ餘計ニ取過ギテ、國ノ要求ニ工業能力ガ應ジ切レナイダケノ豫算ヲ取ッテ、使ヒ切レナイト云フ現象ガ茲ニ現レテ來テ居ルノデアリマセウカ、此點ニ付キマシテ、詳細ナル御答辯ヲ承リタイ

○林國務大臣 只今ノ御質疑ニ對シマシテハ、政府ノ委員カラ御答ヲ致セマス

○平手政府委員 御答致シマス、只今御話ノ通り八年度ノ決算ニ於キマシテ陸軍豫算ニナツテ參リマシタノデアリマスガ、其時ノ豫算ニ約千五百萬圓ノ繰越ガゴザイマス、此千五百萬圓ノ大部分ハ、滿洲事件費デアリマス、是ハ北鐵ニ支拂フベキ鐵道運賃デア

シテ、是ハ北鐵ニ支拂フベキ鐵道運賃デアリマス、是ハ日「ソ」間ニ運賃ノ支拂ニ付キマシテマダシカリ協定ガ出來マセヌ爲ニ繰越シマシテ、協定ガ濟ミマシテ後ニ、

支拂フト云フ考デ繰越シマシタ金ガ、其内ノ九百五十萬圓ニナツテ居リマス、ソレカラ兵器ノ方ニ關係致シマシテ繰越シマシタノガ約百八十萬圓デアリマシテ、此繰越シマ

ト云フ今陸軍ノ御方ガ仰シヤラレマシタ所ノ金額ト大體一致スルヤウニ見受ケラレマスガ、北滿鐵道ガ今ヤ將ニ滿洲國ノ所有ニ

スガ、北滿鐵道ノ運賃ト云フモノハ歸シ、サウシテ其代價ハマダ拂ッテナイノデ

アリマスガ、兎モ角モ滿洲國ノ所有ニ歸シタ以上ハ、其北滿鐵道ノ運賃ト云フモノハ云フ結果ニナリマス、サウナリマスルト

云フト、國防分擔金ノ九百萬圓ト、此支拂フベキ北滿鐵道運賃未拂ノ九百五十萬圓ト

ハ大體符合スルヤウニ考ヘラレマスガ、サウシマスト云フト、雙方相殺スル御考デア

ウ云フ目的デ繰越シマシタノデアリマス、其ニツガ大部分デゴザイマシテ、アトハ極ク微細ナ傷痕軍人ノ扶助金ノ交付、是レアタリガ遺族ノ請求ガ遲レタトカ云フヤウナ理由ニ依リマシテ、翌年度ニ繰越シマシタ

金ガ若干アリマス、以上ノヤウナ次第デアリマス

○中島委員 政友會ノ大口君カラノ質問ニ依リマシテ、國防分擔金ノ問題ガ相當重大ニナツテ參リマシタノデアリマスガ、其時ノ數字ヲ私記憶シテ居ル所ニ依リマスルト云

フト、滿洲國カラ日本ニ對シマシテ約九百

何十萬圓ト云フ國防分擔金ヲ取ルコトニナツテ居リマス、サウスルト此九百五十萬圓ト云フ今陸軍ノ御方ガ仰シヤラレマシタ所

ノ金額ト大體一致スルヤウニ見受ケラレマスガ、北滿鐵道ガ今ヤ將ニ滿洲國ノ所有ニ

スガ、北滿鐵道ノ運賃ト云フモノハ歸シ、サウシテ其代價ハマダ拂ッテナイノデ

アリマスガ、兎モ角モ滿洲國ノ所有ニ歸シタ以上ハ、其北滿鐵道ノ運賃ト云フモノハ云フ結果ニナリマス、サウナリマスルト

云フト、國防分擔金ノ九百萬圓ト、此支拂フベキ北滿鐵道運賃未拂ノ九百五十萬圓ト

ハ大體符合スルヤウニ考ヘラレマスガ、サウシマスト云フト、雙方相殺スル御考デア

リマセウカ、又其他ノ方法ニ依ッテ支拂ヲ講ズル積リデアリマセウカ、未拂ニ對スル所ノ支拂ノ方法、及相殺スル御考デアルヤ否ヤ、此邊ニ付キマシテ先ヅ伺ッテ置キマス

○平手政府委員 御答致シマス、只今申上ゲマシタ北鐵ニ支拂ヒマス見込ノ九百萬圓餘ハ、是ハ北鐵交渉成立前、唯金額ガ未確定デアルダケデアリマシテ、既ニモウ實施ノ金デアリマス、隨テ北鐵ノ賠償價格ト相殺スルト云フ關係ニナツテ居ルモノデハゴザイマセヌ

○中島委員 私金額ガ非常ニ似テ居リマスカラ質問致シマシタノデアリマスガ、サウシマスルト云フト、未拂ト云フコトノ事實ハ現ニアツテ、ソレカラ國防分擔金ガ、今度此十年度ノ豫算ニ依ッテヤハリ九百萬圓ト云フ、同ジ金額ノ金ガ來ルトシマスト云フト、ヤハリソレハ相殺スルトカセヌトカ云フヤウナ問題ガ茲ニ起ッテ來得ルノデハアリマセヌデセウカ、此九百五十萬圓ノ金モ八年度カラ九年度ニ繰越シテ、九年度ニヤハリ拂ハズニ居ルノデスカラ、九年度カラ八年度カラ九年度ニ繰越シテ、九年度ニヤハリ拂ハズニ居ルノデスカラ、九年度カラ八年度ニハ直グ——來月ニハ九年度ガ切レテシマヒマシテ、直グ十年度ニナツテ行キマスガ、其間ニ於テ滿洲國トノ運賃未拂ノ問

…

○平手政府委員 御答致シマス、是ハ北鐵

運賃ハ滿洲國ニ支拂フベキモノデハゴザイ
マセヌ、滿洲國ニ拂フト云フコトヲ前提ト
シテ御考ニナツテ居ルヤウデゴザイマスカ
ラ、ドウゾ其點ヲ御了承ヲ願ヒマス

○中島委員 併シ滿洲國ニ拂フモノデナイ
ト云フケレドモ、滿洲國ノ所有ニナツタノ
ダカラ矢張滿洲國ニ拂ハナケレバナラスト
云フコトニナツテ來ル

○大口委員 一寸龜井君ニ失禮デスガ、只

今ノ問題ニ關聯シテ承リタイ、今ノ質問應
答デ一寸疑問ヲ起シタノデスガ、北滿鐵道
ニ拂フベキ運賃ハ昭和八年度デ拂フコトニ
ナツテ居ル、ソレガマダ拂ハナクテ居ル、剩
餘金ニナツテ居ル、スルト昭和八年度ノ豫算
中ノ、只今ノ拂フベキモノニ於テ、繰越ガ
アツタ場合ハ繼續シテ支拂フト云フ決議ガ
アレバ宜イガ、ナイト普通ノ繰越金ニ其金
ハ入ツテシマフノデスガ、八年度ノ豫算ヲ
議決スル時ニ只今ノ金ハ年度ヲ繰越シテ使
用スルコトヲ得ルト云フ決議ガアリマセウ
カドウデゴザイマスカ

○平手政府委員 御答致シマス、滿洲事件
費ハ繰越明許ニナツテ居リマス、ドウゾ其
點ハ御諒承ヲ願ヒマス

○龜井委員 軍部大臣ニ御尋致シタイノ

ハ、松村君ノ質疑ノ軍需工業ニ關スル問題
ハ極メテ重大ダト思ヒマス、其前半ニ付テ
軍需工業利潤ノ問題、後半軍部ヲ通ジテノ
支拂ガ農村ニ行クモノデアル、此ニツカラ
ナツテ居ルト思ヒマスガ、其前ノ分ニ付テ
ハ、私モ豫算總會デ伺ハウトシテ時間ガナ
イノデ止メマシタガ、軍部モ軍需工業統制
ニ付テ御方針ガアルニ決シテ居ルト思ヒマ
スカラ、先程松村君トノ一問一答ガ稍漠
然ト致シテ居リマスカラ、今直チニデナイ
デモ宜シウゴザイマスカラ、本委員會ノ審
議進行中、適當ナル機會ニ軍部兩大臣ノ軍
需工業ノ統制ト、軍需工業勞働統制ニ付テ
ノ御所見ト、利潤關係ニ付テ松村君トノ先程
ノ質問應答ニハッキリシタ具體的ノ御意
見ヲ御示シテ願ヒタイト思フコトガ一ツデ
アリマス、第二ハ、恐らく私共ノ想像デヘ、
調辨價格ノ問題及勞働賃銀等ノ問題ニ付キ
マシテ、併セテ其及ブ所ノ利潤ノ問題ニ付

松村君ノ先刻ノ御質問ノ趣意ガ完全ニナリ
マシテ、審議ノ進行ニ宜イト思ヒマス、第
三ノ點ハ、陸軍デ川島大將ヲ首班トセラレ
タカ、ドウ云フ名前デアリマシタカ、其中
海軍デモソレニ續イテ御作リニナリマシタ
軍需工業調査委員會ト云フ名前デアリマシ
タカ、ドウ云フ名前デアリマシタカ、其中
ノ軍機兵器ニ關スル部分及將來ノ國防戰
術ノ軍機ニ關スル部分ハ、固ヨリ之ヲ公
開ノ席ニテ伺フコトハ如何カト思フノデア
リマスガ、其調査ノ目的ハ、先刻ノ松村君
ノ御質問ノ要點ニ付テモ御調ベニナツタリ
ヤ否ヤ、ナツタナラバ其點ニ關シテ大體斯
ウ云フ方針デ、斯ウ云フ結果ヲ得テ居ルト
云フヤウナコトヲ、許ス限度ニ於テ只今直
グニデナクテモ結構デアリマスカラ、本委
員會ノ適當ナ機會ニ於テ、松村君トノ一問
一答ヲ速記録ノ上ニハッキリ表ハシテ戴イ
タ上デ審議ヲ續行シタイト思ヒマスガ、ソ
レヲヤツテ戴ケマセウカト云フ質問ノ恰好
ニナリマス

○岡田委員長 ソレデハ今日ハ是デ散會致
シマス、一寸申上ゲテ置キマスガ、明朝
ハ陸軍大臣、海軍大臣、外務大臣、農林大
臣ガ出席サレルト思ツテ居リマスガ、但シ海
軍大臣ハ十一時ヨリ二時マデ御差支ガアリ
マスカラ、是ダケ申上ゲテ置キマス、明日
八十時ヨリ開會致シマス

午後五時三十三分散會

○大角國務大臣 今ノ御希望ノ點ハ調ベテ
キマシテハ、陸軍海軍共ニ監督官制度ヲ非
常ニ運用シテ居ラレルコト、信ジマスカラ
、監督官ガ大體如何ナル考デ、軍需工業ヲ
指導シテ居ラッシャルカ、監督官ガ如何ナル
官制上ノ權限ヲ有スルカ等ノ御見解ニ付キ
マシテ、矢張明瞭ニシテ置イテ戴イタ方ガ、
トデ調べテ……

○林國務大臣 陸軍モ同様デアリマス、ア
印 刷 者 常磐印刷株式會社